

修学基礎セミナー	・・・P1～
福島県を知る	・・・P4～
ライフデザイン	・・・P7～
数学Ⅰ	・・・P10～
数学Ⅱ	・・・P12～
統計学	・・・P14～
情報処理	・・・P16～
化学Ⅰ	・・・P18～
化学Ⅱ	・・・P21～
生物学Ⅰ	・・・P24～
生物学Ⅱ	・・・P27～
物理学Ⅰ	・・・P30～
物理学Ⅱ	・・・P33～
自然科学実験	・・・P36～
コミュニケーション論	・・・P38～
言語と社会	・・・P41～
心理学	・・・P44～
倫理学	・・・P47～
文学	・・・P50～
歴史と社会	・・・P53～
福島県の医療環境	・・・P56～
英語ⅠA	・・・P59～
英語ⅠB	・・・P62～
ドイツ語	・・・P65～
フランス語	・・・P68～
中国語	・・・P71～
スペイン語	・・・P74～
解剖学概論	・・・P77～
解剖学各論	・・・P79～
解剖学演習	・・・P82～
組織学	・・・P84～
組織学実習	・・・P87～
生理学Ⅰ	・・・P90～
生理学Ⅱ	・・・P93～
生理学実習	・・・P96～
基礎生化学	・・・P98～
医学概論	・・・P101～
微生物学総論	・・・P104～
臨床技術基礎演習	・・・P107～
臨床心理学	・・・P109～
環境と放射線	・・・P112～
生命倫理学	・・・P115～
疫学・公衆衛生学	・・・P118～
医用工学	・・・P121～
検査機器・情報科学	・・・P124～
チーム医療Ⅰ（概論）	・・・P127～

科目名 : 修学基礎セミナー 【保健1】
英語名称 :
担当責任者 : 矢吹省司
開講年次 : 1年 前期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 大学入学直後に大学生として正しく学修に取り組み、その成果を実社会で活かす能力を身につけるための基盤づくりと医療を学ぶ上で必要となる心構えを養う。専門医療技術者になるために必要となる修学内容について把握し、医療を通じた社会貢献について学修する。大学生として学修する上で必要な知識やスキルについて学ぶ。最後に、学生間でのプレゼンテーションやディスカッション、教員とのディスカッションを行う。授業は講義と一部演習を行う。なお、学部のキーワードにしている「コミュニケーション」に関連する科目である。

学習目標 :
1. 社会人・医療人として知っておくべき基礎的な知識と態度を理解する。
2. 大学で学問する意義を理解する。
3. 専門医療技術者になるための学修について理解する。
4. プレゼンテーション及びディスカッションを通じ、コミュニケーションの重要性を理解し、実践する。

テキスト : 特定のテキストはありません。

参考書 : 向後千春『18歳からの「大人の学び」基礎講座』北大路書房、2016

成績評価方法 : 定期試験80%、発表20%

その他 : 各講義に必要な資料は、講義の際に配布します。
メッセージ等

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月10日	1	駅前	矢吹省司	「大人の学び」基礎講座（我々は何を学び何をを目指すのか）
2	4月17日	1	駅前	高橋仁美	社会人になるまでに学ぶこと
3	4月24日	1	駅前	小川一英	医療人として働くために学ぶべきこと
4	5月1日	1	駅前	五百川和明	コミュニケーションによって医療人は何を得てどう活かすのか
5	5月8日	1	駅前	亀岡弥生 （医療人育成・支援センター）	チームによる課題解決を学ぶ
6	5月15日	1	駅前	豊川真弘	自ら学ぶことの意義
7	5月22日	1	駅前	林博史	医療・医学とは
8	5月29日	1	駅前	北爪しのぶ	研究・論文とは
9	6月5日	1	駅前	久保均	インターネット・リテラシー
10	6月12日	1	駅前	本多創史	生命倫理
11	6月19日	1	駅前	北爪しのぶ	男女共同参画
12	6月27日	4	駅前	矢吹省司・高橋仁美 五百川和明・林博史 久保均 小川一英・豊川真弘・北爪しのぶ	プレゼンテーション及びディスカッション （20グループに分け、グループ内でプレゼンテーション及びディスカッション） 修学基礎セミナーを学んだ上で、今後大学4年間でどのような医療人を目指して学ぶのかに関して

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	6月27日	5	駅前	矢吹省司・高橋仁美 五百川和明・林博史 久保均 小川一英・豊川真弘・北爪しのぶ	プレゼンテーション及びディスカッション (グループ1~7が全体に対しプレゼンテーション、その後ディスカッション)
14	6月27日	6	駅前	矢吹省司・高橋仁美 五百川和明・林博史 久保均 小川一英・豊川真弘・北爪しのぶ	プレゼンテーション及びディスカッション (グループ8~14が全体に対しプレゼンテーション、その後ディスカッション)
15	6月27日	7	駅前	矢吹省司・高橋仁美 五百川和明・林博史 久保均 小川一英・豊川真弘・北爪しのぶ	プレゼンテーション及びディスカッション (グループ15~20が全体に対しプレゼンテーション、その後ディスカッション)

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 福島県を知る 【保健1】
英語名称 :
担当責任者 : 矢吹省司
開講年次 : 1年 前期 1単位 授業形態 : 講義・見学
必修・選択 : 必修

概要 : 福島県の風土や歴史、芸術について理解する。授業は、福島県における風土、歴史、芸術、および現状についての講義を行う。地域を理解することで、その地域で働くことの素晴らしさに気づいてもらう。なお、学部のキーワードにしている「地域医療」に関連する科目である。

学習目標 : 福島県の風土、歴史、芸術、および現状を理解する。

テキスト : 開沼博、『はじめての福島学』、イースト・プレス、2015

参考書 : 開沼博編、『福島第一原発廃炉図鑑』、太田出版、2016
開沼博、『「フクシマ」論』、青土社、2011
佐藤栄佐久、開沼博、『地方の論理』、青土社、2012

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 : 各講義に必要な資料は、講義の際に配布します。
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : -

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月12日	1	駅前	矢吹省司 開沼博 (東京大学)	ガイダンス イントロダクション
2	4月12日	2	駅前	開沼博 (東京大学)	福島現状1 福島復興の全体像
3	4月12日	3	駅前	開沼博 (東京大学)	福島現状2 廃炉と原発周辺地域の再生
4	4月26日	4	駅前	栗原祐斗 (福島県立博物館)	福島県の歴史 (日本史上で、福島県が主要な舞台となった出来事(戊辰戦争、奥羽仕置、奥州合戦など)について学ぶ。)
5	4月26日	5	駅前	大里正樹 (福島県立博物館)	はま・なか・あいつの地域性 (福島県を構成する浜通り・中通り・会津という3つの地域の自然環境や暮らしの特徴を、主に県内各地に伝わる衣食住や祭り・芸能などの生活文化から考える。)
6	4月26日	6	駅前	高橋充 (福島県立博物館)	福島県の歴史と文化1 (福島県立博物館の常設展示室(総合展示・部門展示)や、企画展示室・バックヤード等を見学し、実物を通して、福島県の歴史・文化や自然を学ぶ。)
7	4月26日	7	駅前	高橋充 (福島県立博物館)	福島県の歴史と文化2 (福島県立博物館の常設展示室(総合展示・部門展示)や、企画展示室・バックヤード等を見学し、実物を通して、福島県の歴史・文化や自然を学ぶ。)
8	5月10日	5	駅前	増淵鏡子、宮武弘 (福島県立美術館)	福島県の近代美術概観(福島出身主要作家、県内の美術動向など)
9	5月10日	6	駅前	増淵鏡子、宮武弘 (福島県立美術館)	常設展・企画展をとおして、福島出身の作家や美術をめぐる話をいたします
10	5月10日	7	駅前	増淵鏡子、宮武弘 (福島県立美術館)	常設展・企画展をとおして、福島出身作家や美術コレクションについて考えてみます
11	4月12日	4	駅前	開沼博 (東京大学)	3. 11までの福島1：近代編
12	4月12日	5	駅前	開沼博 (東京大学)	3. 11までの福島2：現代編

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	5月10日	1	駅前	開沼博 (東京大学)	福島の今後をいかに展望するか
14	5月10日	2	駅前	志賀敦子 (小野町 立小野中学校)	福島の食文化Ⅰ (福島県の食文化についての講義)
15	4月12日	6	駅前	鈴木賢二 (福島県酒造組合)	福島の食文化Ⅱ (福島県の日本酒No.1についての講義)

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : ライフデザイン【保健1】
英語名称 : Life design
担当責任者 : 本多創史
開講年次 : 1年 前期 1単位 授業形態 : 講義及び演習
必修・選択 : 必修

概要 : 自分の今後の将来設計を描くにあたって、確かな勤労観を持ち、有為な社会人として活躍できる基本的な資質・能力を身に付ける。本学の理念である「ひとのいのちを尊び倫理性豊かな医療人を教育・育成する。」の具現化・体現化を目指して、現在の大学生活を振り返り、今後の大学生活を充実させるためにできること、手立てをノートにまとめ、具体的なライフプランを実現させるための方法をグループで学びあい、集団討議させることで、より確かなライフデザインを描けるようにする。知力、実践力、提案力、コミュニケーション力を兼ね備えた人間力を培う。

学習目標 : 一般目標 生涯にわたる、キャリア形成の意義と実践を紹介し、如何に生きるべきかを多様な事例から学び、自らの人生設計をより確かなものにすることを目標とする。
行動目標 自ら考えるライフデザインを実現させるために自己鍛錬の必要性を理解する。

テキスト : ジル・チャン（神崎朗子訳）『「静かな人」の戦略書——騒がしすぎるこの世界で内向型が静かな力を発揮する法』ダイヤモンド社、2022.

参考書 : なし

成績評価方法 : 平常点30%（平常点は、授業への参加状況および小テストの結果等で総合的に判断する）レポート70%（必ず提出すること。未提出がある場合評価の対象としないことがある）
提出されたレポートは次回の授業内でフィードバックを行う

その他 : ニュースをよく見聞きし古の智慧に学ぶ素直な気持ちを持つ
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月14日	1	駅前	佐々木晃	授業方針 ガイダンス、ライフデザインを学ぶ意義の説明
2	4月21日	1	駅前	佐々木晃	自らの埋もれた価値を見出す 自分史作成 自己を知る
3	4月28日	1	駅前	佐々木晃	各種の分析を用いて理解する 自己分析 自己理解 自己管理
4	5月12日	1	駅前	佐々木晃	多様な学修の紹介 学生生活のデザイン
5	5月19日	1	駅前	佐々木晃	幅広い価値観の理解 時事問題理解力、思考力、表現力
6	5月26日	1	駅前	佐々木晃	プロフェッショナリズムの会得 社会人に求められるもの
7	6月2日	1	駅前	佐々木晃	社会人基礎力の紹介 社会で働くための資質・能力
8	6月9日	1	駅前	佐々木晃	最新の経済動向を踏まえた学び 業界・企業研究
9	6月16日	1	駅前	佐々木晃	現状に満足せず次を考える学び 課題発見能力・協調性・提案力
10	6月23日	1	駅前	佐々木晃	自分や組織の本来的使命の理解 ビジョン構築力
11	6月30日	1	駅前	佐々木晃	人生の各節目の意義の理解 ライフステージとライフイベント
12	7月7日	1	駅前	佐々木晃	両者の概念の違いの紹介 ライフデザインとライフプラン

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月14日	1	駅前	佐々木晃	レポートの課題と作成要領 ライフデザインの作成
14	7月21日	1	駅前	佐々木晃	内容を平易に伝えるための工夫 ライフデザインの発表
15	7月28日	1	駅前	佐々木晃	生涯にわたっての自己啓発 キャリア開発に向けて

科目名 : 数学 I
英語名称 : An introduction to mathematics I
担当責任者 : 柴田 恭子
開講年次 : 1年 前期 2単位 **授業形態** : 講義
必修・選択 : 必修 (放射・臨床検査)、 選択 (理学・作業)

概要 : 線形代数学は、自然科学分野は勿論のこと社会科学分野でも広く応用され、自然現象や社会現象を記述する必須の言葉となっている。この授業では、「行列」、「行列式」、「1次変換」の概念を理解し、基礎的な計算力を身に付ける。

学習目標 : (1) 行列の和・差・積の計算ができる。
(2) 逆行列、行列式の意味を理解し、計算ができる。
(3) 掃き出し法による計算ができる。
(4) 余因子展開ができる。
(5) 1次変換の意味を理解し、計算ができる。

テキスト : 資料を配布する

参考書 :

成績評価方法 : 平常点 45%、期末試験 55%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : —

授業スケジュール／担当教員等：

回	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月13日 (木)	6	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	行列の和・差・実数倍
2	4月20日 (木)	6	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	行列の積
3	4月27日 (木)	6	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	まとめのテスト
4	5月11日 (木)	6	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	掃き出し法：基本操作
5	5月18日 (木)	6	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	掃き出し法：簡約な行列、階数
6	5月25日 (木)	6	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	掃き出し法：正則行列
7	6月1日 (木)	6	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	まとめのテスト
8	6月8日 (木)	6	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	行列式の定義、クラームルの公式
9	6月15日 (木)	6	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	行列式の性質
10	6月22日 (木)	6	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	余因子展開
11	6月29日 (木)	6	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	まとめのテスト
12	7月6日 (木)	6	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	行列と1次変換：回転移動
13	7月13日 (木)	6	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	行列と1次変換：1次変換
14	7月20日 (木)	6	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	まとめのテスト
15	7月27日 (木)	6	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	全体のまとめ 期末試験対策

科目名 : 数学Ⅱ
英語名称 : An introduction to mathematics Ⅱ
担当責任者 : 柴田 恭子
開講年次 : 1年 後期 2単位 **授業形態** : 講義
必修・選択 : 必修（放射）、 選択（理学・作業・臨床検査）

概要 : 多くの自然現象を記述する方程式として、微分方程式がある。微分方程式を解くことによって物体の運動の実態などを明らかにすることができる。現象を見てそれを支配する法則を微分方程式モデルに表現することは、それを解くことと同じく重要である。

微分積分学は、自然現象や社会の仕組み、工業技術に関することがらを解明するときには必要不可欠である。

この授業では「微分積分学」の中の「平均値の定理とテイラーの定理」「不定積分と定積分」と「微分方程式」の中の「常微分方程式」の概念を理解し、簡単なモデルの解法を学習する。高等学校で数学Ⅲを履修しているものとして授業を行う。

学習目標 : (1) 関数のマクローリン展開を求められる。
(2) 不定積分と定積分の計算ができる。
(3) 図形の面積・体積と曲線の長さが計算できる。
(4) 簡単な常微分方程式の解を求めることができる。
(5) 微分方程式モデルの意味を説明できる。

テキスト : 岡本和夫「新版微分積分」実務出版

参考書 : 岡本和夫「新版微分積分演習」実務出版
デヴィッド・バージェス、モラグ・ポリー、垣田・大町訳
「微分方程式で数学モデルを作ろう」日本評論社

成績評価方法 : 平常点 40%、定期試験 60%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等：

回	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月25日 (月)	1	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	微分法Ⅱ：関数表示の微分法
2	10月2日 (月)	1	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	微分法Ⅱ：平均値の定理と その応用
3	10月16日 (月)	1	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	微分法Ⅱ：テイラーの定理と その応用
4	10月23日 (月)	1	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	積分法Ⅱ：リーマン積分・ 不定積分
5	10月30日 (月)	1	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	積分法Ⅱ：図形の面積・ 曲線の長さ
6	11月6日 (月)	1	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	積分法Ⅱ：立体の体積
7	11月13日 (月)	1	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	微分方程式の解
8	11月20日 (月)	1	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	初期値問題と境界値問題
9	11月27日 (月)	1	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	1階微分方程式：変数分離形
10	12月4日 (月)	1	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	1階微分方程式：同次形
11	12月11日 (月)	1	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	1階微分方程式：線形微分方程式
12	12月18日 (月)	1	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	2階微分方程式：階数降下法・ 2階線形微分方程式と解
13	12月25日 (月)	1	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	2階微分方程式： 定数係数同次線形微分方程式・ 定数係数非同次線形微分方程式
14	1月15日 (月)	1	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	2階微分方程式： 連立微分方程式
15	1月22日 (月)	1	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆	2階微分方程式： 非定数係数同次線形微分方程式

科目名 : 統計学
英語名称 : An introduction to statistics
担当責任者 : 柴田 恭子
開講年次 : 1年 前期 2単位 **授業形態** : 講義
必修・選択 : 必修 (理学・作業・放射・臨床検査)

概要 : 研究や診療のデータにはばらつきがつきものである。このようなデータに基づいて立てる予測が信頼に足るものかどうか判断するためには、確率・統計の知識が必要となる。

この授業では、記述統計と確率分布、推測統計 (推定・検定) の基本的な考え方を身に付ける。講義中にできるだけ多くの計算練習を行うことにより、計算力の向上及び基礎理論の理解を図る。

学習目標 : (1) データの特徴を把握し、検定方法を定めることができる。
(2) 信頼区間の意味を説明できる。
(3) 第1種の過誤と第2種の過誤を説明できる。
(4) データを適切な形で要約記述することができる。

テキスト : 資料を配布する

参考書 :

成績評価方法 : 平常点 45%、期末試験 55%

その他 : 放射・臨床検査、理学・作業で時限が異なりますので、詳細は時間割で確認する
メッセージ等 こと。

実務経験のある教員が行う授業科目 : —

授業スケジュール／担当教員等：

回	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	5月17日 (水)		多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	度数分布
2	5月24日 (水)		多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	代表値
3	5月24日 (水)		多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	分散
4	5月31日 (水)		多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	相関係数
5	5月31日 (水)		多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	確率変数
6	6月7日 (水)		多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	正規分布
7	6月7日 (木)		多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	二項分布
8	6月14日 (水)		多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	母集団と標本
9	6月14日 (水)		多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	区間推定Ⅰ：t分布
10	6月28日 (水)		多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	区間推定Ⅱ：カイ2乗分布
11	6月28日 (水)		多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	母平均の検定
12	7月12日 (水)		多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	母分散・母比率の検定
13	7月12日 (水)		多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	有意差検定
14	7月26日 (水)		多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	適合度・独立性の検定
15	7月26日 (水)		多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子	期末試験対策

科目名	： 情報処理
英語名称	： Computer Literacy
担当責任者	： 柴田 恭子
開講年次	： 1年 前期 2単位 授業形態 ： 講義
必修・選択	： 必修（理学・作業・放射・臨床検査）
概要	<p>： 高度に複雑化された現代社会において様々な情報がコンピュータの中でデータとして蓄えられ、高速化したネットワークによって遠く離れたところから利用できる環境が整うとともに、自らもリアルタイムに情報を発信できるようになっている。医療 IT の分野における医用画像機器による画像診断システム、臨床情報（画像情報・臨床検査情報・手術・薬剤業務・看護業務・リハビリテーション業務など）や病院情報（医療会計・保険管理・看護予約シフト管理・在庫管理・入退転院管理・電子カルテなど）の管理システムなどもコンピュータの力に負うことが大きい。学習・研究分野においても実験データの加工、統計解析、発表資料の作成他、インターネットを利用した情報検索やデータ交換等、コンピュータは必要不可欠な道具となっている。</p> <p>この講義では、医療技術者として必要な情報リテラシーの基礎知識と私たちの生活に大きく深く入り込んでいるコンピュータについて学ぶ。具体的には以下の内容を学習する：</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) コンピュータを構成するハードウェアの基礎について (2) オペレーティングシステム(OS)について (3) ネットワークの仕組みとインターネット利用方法について (4) 情報セキュリティと情報モラルについて (5) ワープロ操作や表計算などのアプリケーション・ソフトウェアについて (6) マルチメディアを駆使して提供される発表資料の作成と利用について (7) データ解析環境「R」によるプログラミングについて
学習目標	<p>： (1) コンピュータの仕組みとハードウェアの構成を理解し、基本操作ができる。</p> <p>(2) オペレーティング・システム(OS)の役割について理解し、データファイルの管理ができる。</p> <p>(3) 電子メール・インターネットの仕組み、問題点と危険性、使用上のマナーを理解し、利活用できる。</p> <p>(4) 知的財産権を理解し、情報倫理を遵守した適切な情報活用ができる。</p> <p>(5) オフィス系アプリケーション・ソフトウェアを活用して効果的なレポート・発表資料を作成できる。</p> <p>(6) プログラミングの基本を理解し、データ解析環境「R」による簡単なプログラムを作成できる。</p>
テキスト	： FOM 出版「情報リテラシー 総合編」Windows 11/Office2021 対応
参考書	： FOM 出版「学生のための思考力・判断力・表現力が身に付く情報リテラシー」Office2016 対応 舟尾暢男「The R Tips-データ解析環境 R の基本技・グラフィックス活用集」第 3 版
成績評価方法	： 提出課題 100%
その他	： Office ソフト（Word、Excel、PowerPoint）がインストールされている
メッセージ等	： ノートパソコンを授業前に満充電して持参すること。
実務経験のある教員が行う授業科目	： ー

授業スケジュール／担当教員等：

回	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	5月17日 (水)	5	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆 田代雅実	・ガイダンス、PCの準備 (講義の進め方、ソフトウェアの インストールや講義資料のダ ウンロード) ・コンピュータの基本操作
2	5月24日 (水)	6	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆 田代雅実	・コンピュータの仕組みと ハードウェアの構成 ・インターネット・電子メールの 仕組みと利用
3	5月24日 (水)	7	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆 田代雅実	・情報モラルとセキュリティ ・知的財産権と情報の利用方法
4	5月31日 (水)	6	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆 田代雅実	情報の収集方法 (検索エンジンを利用した情報 検索とデータベースの活用)
5	5月31日 (水)	7	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆 田代雅実	情報の整理・加工と分析(1) (表計算ソフトによる 情報の整理・集計と可視化)
6 ・ 7	6月7日 (水)	6 ・ 7	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆 田代雅実	情報の整理・加工と分析(2) (表計算ソフトによる データベースの活用方法)
8 ・ 9	6月14日 (水)	6 ・ 7	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆 田代雅実	情報の整理・加工と分析(3) (整理・加工したデータの 表計算ソフトによる分析)
10 ・ 11	6月28日 (水)	6 ・ 7	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆 田代雅実	情報の提示と発信(1) (文書作成ソフトによる図表を 挿入した定形報告書の作成)
12 ・ 13	7月12日 (水)	6 ・ 7	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆 田代雅実	情報の提示と発信(2) (プレゼンテーションソフトに よるスライドの作成)
14 ・ 15	7月26日 (水)	6 ・ 7	多目的ホール/ 駅前キャンパス	柴田恭子 安達 隆 田代雅実	プログラミング入門 (データ解析環境「R」によるプロ グラミングとシミュレーション)

科目名 : 化学 I
英語名称 : Chemistry I
担当責任者 : 佐々木 道子
開講年次 : 1 年 前 期 1 単 位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修 (臨床検査学科, 診療放射線科学科) / 選択 (作業療法学科, 理学療法学科)

概要 : 人体を含めすべての物質が原子・分子で構成されていることを考えれば、原子・分子を正しく理解、認識することは、医療に携わる者にとって必須の要件である。本講義では、化学全般を学ぶ上での基礎となる、原子および分子の構造、物質の状態 (マクロ)、化学反応、について学び、物質とその反応について正しい概念を身につける。

学習目標 : 1) 原子の構造について説明できる。
2) 周期表に基づいて、原子の構造と性質の違いを説明できる。
3) 化学結合の種類と性質について説明できる。
4) 物質の状態について説明できる。
5) 化学反応の平衡と速度について説明できる。

テキスト : 特になし (教材を配布する)

参考書 : はじめて学ぶ大学の物理化学 / 齊藤 昊 (著) ; 化学同人
物理化学—分子論的アプローチ (上) (下) / Donald A. McQuarrie, John D. Simon (著) 千原秀昭, 斎藤一弥, 江口太郎 (訳) ; 東京化学同人
ボルハルト・ショアー現代有機化学 (上) (下) / K. P. C. Vollhardt, N. E. Schore (著) 古賀憲司, 野依良治, 村橋俊一 (監訳) ; 化学同人

成績評価方法 : 中間, 期末試験 (80%)、小テスト (20%)

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : —

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月13日	2	駅前	佐々木 道子	イントロダクション
2	4月20日	2	駅前	佐々木 道子	原子の構造（1）：原子モデル
3	4月27日	2	駅前	佐々木 道子	原子の構造（2）：電子配置, 周期表
4	5月11日	2	駅前	佐々木 道子	分子の構造（1）：化学結合
5	5月18日	2	駅前	佐々木 道子	分子の構造（2）：分子軌道法と原子価結合法
6	5月25日	2	駅前	佐々木 道子	分子間の相互作用
7	6月1日	2	駅前	佐々木 道子	物質の三態（1）：気体
8	6月8日	2	駅前	佐々木 道子	物質の三態（2）：液体, 固体
9	6月15日	2	駅前	佐々木 道子	中間まとめ（中間試験）
10	6月22日	2	駅前	佐々木 道子	化学熱力学（1）：エンタルピーとエントロピー
11	6月29日	2	駅前	佐々木 道子	化学熱力学（2）：自由エネルギー
12	7月6日	2	駅前	佐々木 道子	化学反応の機構（1）：反応の平衡, 速度

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月13日	2	駅前	佐々木 道子	化学反応の機構（2）：素反応と複合反応
14	7月20日	2	駅前	佐々木 道子	反応における電子の動き（1）
15	7月27日	2	駅前	佐々木 道子	反応における電子の動き（2）

科目名 : 化学Ⅱ
英語名称 : Chemistry II
担当責任者 : 佐々木道子
開講年次 : 1年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 選択

概要 : 有機化合物についての各論を学ぶ。個々の化合物の性質、反応性を学ぶ過程で、基本的な原理を理解すれば、大量の反応を個別に記憶する必要がないことを理解し、新しい反応についてもある程度予測可能となるような知識を身につける。その上で、生体内における化学反応について理解する。

学習目標 : 1) 有機化合物の定義および分類ができる。
2) 有機化合物の特徴を官能基に基づいて説明できる。
3) 有機化合物の反応性を官能基に基づいて説明できる。

テキスト : 特になし（教材を配布する）

参考書 : はじめて学ぶ大学の有機化学／深沢 義正, 笛吹修治（著）；化学同人
ポルハルト・ショアー現代有機化学（上）（下）／K. P. C. Vollhardt, N. E. Schore（著）古賀憲司, 野依良治, 村橋俊一（監訳）；化学同人

成績評価方法 : 中間, 期末試験（80%）、小テスト（20%）

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月22日	1	駅前	佐々木 道子	酸と塩基（1）：定義
2	9月29日	1	駅前	佐々木 道子	酸と塩基（2）：酸と塩基の強さ
3	10月6日	1	駅前	佐々木 道子	有機化合物概説
4	10月13日	1	駅前	佐々木 道子	有機化合物の立体化学（1）
5	10月20日	1	駅前	佐々木 道子	有機化合物の立体化学（2）
6	10月27日	1	駅前	佐々木 道子	ハロアルカン（1）：求核置換反応
7	11月10日	1	駅前	佐々木 道子	ハロアルカン（2）：脱離反応
8	11月17日	1	駅前	佐々木 道子	中間まとめ（中間試験）
9	11月24日	1	駅前	佐々木 道子	アルケン，アルキン
10	12月8日	1	駅前	佐々木 道子	芳香族化合物
11	12月15日	1	駅前	佐々木 道子	アルコール，エーテル
12	12月22日	1	駅前	佐々木 道子	アルデヒド，ケトン

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	1月19日	1	駅前	佐々木 道子	カルボン酸
14	1月26日	1	駅前	佐々木 道子	アミン
15	2月2日	1	駅前	佐々木 道子	生体内における有機化学反応

科目名 : 生物学Ⅰ【保健Ⅰ】
英語名称 : BiologyⅠ
担当責任者 : 有吉 健太郎
開講年次 : 1年 前期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 医療を志す者にとって、基本的な生物学の知識は最も重要な素養の一つである。本講義では、すべての生物に共通な特徴（細胞、組織、エネルギー代謝、呼吸、情報伝達、遺伝）について系統的に学習し、生物の有する普遍性と特殊性について理解する。最後に生物の多様性と進化をもたらさうる生物の可塑性を考察することで、生物のダイナミズムに触れる。

学習目標 :

- (1)生命の基本的な概念を説明できる。
- (2)種々の細胞小器官の構造と機能について説明できる。
- (3)細胞骨格と細胞核の構造を説明できる。
- (4)個体の成り立ちを理解し、階層性を説明できる。
- (5)染色体の構造と機能を理解し、体細胞分裂および減数分裂の過程を説明できる。
- (6)生殖の方法と発生過程について説明できる。
- (7)遺伝子の本態であるDNAの構造と機能について説明できる。
- (8)DNAの複製、転写の仕組みとタンパク質の合成が説明できる。
- (9)アミノ酸、タンパク質、糖、核酸、脂質の性質・代謝について概説できる。
- (10)酸化的リン酸化によるATPの産生及びATPの加水分解に伴うエネルギーの放出を説明できる。
- (11)酵素の構造と機能について説明できる。
- (12)ホルモンや神経系による恒常性の維持について説明できる。
- (14)免疫系による生体防御についてその機構を理解し、説明できる。
- (15)生命の多様性について進化の観点から説明ができる。

テキスト : 特に使用しません。講義用プリントを配布します。

参考書 : Alberts B.ほか（2016）「Essential細胞生物学 原書第4版」南江堂
Lodish H. ほか（2016）「分子細胞生物学 第7版」東京化学同人
Alberts B.ほか（2017）「細胞の分子生物学 第6版」ニュートンプレス

成績評価方法 : 出席状況および筆記試験により総合判定する。

その他 : 基本的には、プリントと、その内容を解説・補充するスライドを用います。
メッセージ等 : また、一部の内容については、理解を深めるために、動画を利用します。

実務経験のある教員が行う授業科目 : —

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月10日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	序論（生命とは何か、生物学史）
2	4月17日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	細胞の構造と機能（細胞の構造、細胞小器官）
3	4月24日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	細胞の構造と機能（細胞骨格、核内構造）
4	5月1日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	個体の成り立ち（様々な細胞、組織と器官）
5	5月15日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	細胞分裂（染色体、体細胞分裂と減数分裂）
6	5月22日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	受精と発生（初期発生、器官形成過程）
7	5月29日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	遺伝子の役割（遺伝情報とDNA）
8	6月5日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	遺伝子の複製と発現（複製、転写、翻訳）
9	6月12日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	生体を構成する物質（アミノ酸、タンパク質、糖、核酸、脂質）
10	6月19日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	エネルギーの獲得と利用(好気呼吸、嫌気呼吸、光合成、ATP)
11	6月26日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	タンパク質輸送とシグナル伝達
12	7月3日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	恒常性(ホルモン、神経)

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月10日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	生体防御機構(免疫細胞の働き)
14	7月24日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	生殖と遺伝学
15	7月24日	5	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	生物の多様性と進化(生物の分類、進化論、分子進化、共生進化)

科目名 : 生物学Ⅱ【保健1】
英語名称 : BiologyⅡ
担当責任者 : 有吉 健太郎
開講年次 : 1年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 選択

概要 : 本講義では、生物学Ⅰで行なった細胞生物学・分子遺伝学・分子生物学の発展として、細胞の観察方法や分子生物学的な解析方法・ゲノムを操る方法を紹介するとともに、再生医療やがんに関するこれまでの研究の紹介や、がんを防ぐ（ゲノムを護る）機構についても学ぶ。最後に、分子レベル、細胞レベルにおける人体の影響と防御機構（主に放射線に対する防御機構）について学ぶ。

学習目標 : (1)細胞を観察するために用いられる顕微鏡の仕組みと染色法を説明できる。
(2)組み替えDNA等バイオテクノロジーについて理解し、検査法への応用を説明できる。
(3)ゲノム異常が引き起こす疾患について説明できる。
(4)がん遺伝子が引き起こす細胞の異常形質について説明できる。
(5)細胞周期の各過程と細胞周期チェックポイントを概説できる。
(6)DNAの傷害の原因とその機構および損傷修復機構について説明できる。
(7)DNAの傷害を引き起こす物質や放射線とその生物影響について説明できる。
(8)分子レベル、細胞レベルでの防御機構（放射線に対する防御機構も含む）について説明できる。

テキスト : 特に使用しません。講義用プリントを配布します。

参考書 : Alberts B.ほか（2016）「Essential細胞生物学 原書第4版」南江堂
Lodish H. ほか（2016）「分子細胞生物学 第7版」東京化学同人
Alberts B.ほか（2017）「細胞の分子生物学 第6版」ニュートンプレス

成績評価方法 : 出席状況および筆記試験により総合判定する。

その他 : 基本的には、プリントと、その内容を解説・補充するスライドを用います。
メッセージ等 : また、一部の内容については、理解を深めるために、動画を利用します。

実務経験のある教員が行う授業科目 : —

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月22日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	序論
2	9月29日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	ゲノムを調べる技術、遺伝子発現を調べる技術
3	10月6日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	ゲノムを操る技術
4	10月13日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	進歩し続ける再生医療
5	10月20日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	がんのがん遺伝子①（がんの生物史）
6	10月27日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	がんのがん遺伝子②（がん遺伝子ハンティング）
7	11月10日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	がんのがん遺伝子③（がんとゲノム異常）
8	11月17日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	細胞を観察する技術（顕微鏡、染色法）
9	11月24日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	ゲノムを護る①（細胞周期チェックポイント、細胞死、老化）
10	12月8日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	ゲノムを護る②（さまざまなDNA損傷、さまざまなDNA修復機構）
11	12月15日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	ゲノムを護る③（DNA修復機構の破綻と疾患）
12	12月22日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	がん治療（抗がん剤、放射線、免疫）

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	1月19日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	放射線（等環境ストレス）がもたらす生物影響①（序）
14	1月26日	4	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	放射線（等環境ストレス）がもたらす生物影響②（細胞影響、個体影響、非標的効果）
15	2月2日	5	駅前	有吉 健太郎（総合教育研究センター）	放射線（等環境ストレス）がもたらす生物影響③（福島野生動物影響調査）

科目名 : 物理学I
英語名称 : Physics I
担当責任者 : 吉田 宏
開講年次 : 5年 前期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 選択（理学・作業）、必修（放射・検査）

概要 : 人体の動きから人体内部の生命現象に至るまで、物質が関与する現象は物理学の原理にしたがっていることが考えられる。また、医療の現場では多くの医療機器に満ちており、これらの医療機器は物理学の原理にしたがって作動している。そのため、物理学の知識が医療に対して不可欠である。本講義では力学（変位・速度・加速度、落体の運動、運動の法則、力のつり合い、様々な力（重力、弾性力、摩擦力、慣性力、水圧・浮力、流体の抵抗力））、電磁気学（静電気、定常電流、磁場と電流、電磁誘導と交流、電磁波）、原子物理学（電子、原子、原子核）に関する基本法則と考え方について学習し、理解することを目的とする。

学習目標 : (1) 物理量や単位系などを説明することができること。
(2) 力学に関する基本法則と考え方を説明できること。
(3) 波動に関する基本的法則と考えた方を説明できること。
(4) 電磁気学に関する基本法則と考え方を説明できること。
(5) 原子物理学に関する基本法則と考え方を説明できること。

テキスト : 生命科学のための基礎シリーズ「物理」大島泰郎監修，川久保達之・工藤成史・古野安治・前田忠計 著，実教出版

参考書 : 講義の中で適宜紹介する

成績評価方法 : 出席（小テスト：50%），定期試験（50%）

その他 : 物理学の授業では、個々の現象にとらわれず「何故そのような法則が成り立つのか」・「より基本的な法則は何か」といった観点から現象をとらえるよう心がけていただきたい。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月13日	7	駅前 多目的ホール	吉田 宏	次元と単位
2	4月20日	7	駅前 多目的ホール	吉田 宏	力学（力とベクトル、力のつり合い）
3	4月27日	7	駅前 多目的ホール	吉田 宏	力学（ニュートンの運動の法則）
4	5月11日	7	駅前 多目的ホール	吉田 宏	力学（仕事、摩擦力）
5	5月18日	7	駅前 多目的ホール	吉田 宏	力学（トルク、剛体のつり合い）
6	5月25日	7	駅前 多目的ホール	吉田 宏	力学（テコの原理）
7	6月1日	7	駅前 多目的ホール	諸井 陽子	波動（波の伝わり方）
8	6月8日	7	駅前 多目的ホール	諸井 陽子	波動（波の性質）
9	6月15日	7	駅前 多目的ホール	諸井 陽子	波動（音）
10	6月22日	7	駅前	吉田 宏	原子物理学（原子、電子、原子核）
11	6月29日	7	駅前	五月女 康作	電磁気学（静電気）
12	7月6日	7	駅前	五月女 康作	電磁気学（定常電流）

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月13日	7	駅前 多目的ホール	五月女 康作	電磁気学（磁場と電流）
14	7月20日	7	駅前 多目的ホール	五月女 康作	電磁気学（電磁誘導と交流）
15	7月27日	7	駅前 多目的ホール	五月女 康作	電磁気学（電磁波）

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

担当教員：吉田 宏／准教授／総合科学教育研究センター（物理学）

五月女 康作／准教授／診療放射線科学科

諸井 陽子／助手／医療人育成・支援センター

科目名 : 物理学II
英語名称 : PhysicsII
担当責任者 :
開講年次 : 1年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修 診療放射科学科

概要 : 人体の動きから人体内部の生命現象や物質が関与する現象、医療の現場では使用されている医療機器は物理学の原理にしたがっている。そのため、物理学の知識が医療に対して不可欠である。本講義では力学（力学的エネルギー、衝突、等速円運動、単振動、万有引力）、波動（波、音、光）、熱力学（気体の法則、気体の状態変化）に関する基本法則と考え方について学習し、理解することを目的とする

学習目標 : 1) 力学に関する基本法則と考え方を説明できること。
2) 波動に関する基本法則と考え方を説明できること。
3) 熱力学に関する基本法則と考え方を説明できること。

テキスト : 特に指定しない。

参考書 : 適宜紹介する

成績評価方法 : 毎回の講義の後に公開される小テスト(30%) , 定期テスト(70%)

その他 : この講義を受講する学生は、前期に「物理学I」と並行して行われる「物理学Iプライム（仮称）」（任意参加の補講）を受講していることが望ましい。疑問があるときはいつでも質問していただきたい。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月28日	1	駅前	吉田 宏	力学（ニュートンの運動の法則）
2	10月5日	1	駅前	吉田 宏	力学（空気抵抗を考慮した落下）
3	10月12日	1	駅前	吉田 宏	力学（仕事とエネルギー）
4	10月19日	1	駅前	吉田 宏	力学（回転運動）
5	10月26日	1	駅前	吉田 宏	力学（回転と角運動量）
6	11月2日	1	駅前	吉田 宏	力学（振動）
7	11月9日	1	駅前	吉田 宏	波動（波の伝わり方①）
8	11月16日	1	駅前	吉田 宏	波動（波の伝わり方②）
9	11月30日	1	駅前	吉田 宏	波動（波の性質）
10	12月7日	1	駅前	吉田 宏	波動と熱力学（音波）
11	12月14日	1	駅前	吉田 宏	波動（音と光）
12	12月21日	1	駅前	吉田 宏	波動（光）

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	1月18日	1	駅前	吉田 宏	波動（電磁波）
14	1月25日	1	駅前	吉田 宏	力学（遠心分離機①）
15	2月1日	1	駅前	吉田 宏	力学（遠心分離機②）

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

授業担当：吉田 宏／准教授／総合科学教育研究センター（物理学）

科目名 : 自然科学実験
英語名称 : Experiments in natural science
担当責任者 : 佐々木 道子
開講年次 : 1年 前期 1単位 授業形態 : 実験・実習
必修・選択 : 必修

概要 : 本実験では、自然科学（物理学、化学、生物学）に関する実験を通して、各科目への理解を深めることを目的とする。各分野においていくつかのテーマに関連した実験を行い、得られたデータの解析・分析の仕方、実験レポートの書き方などを身につけることを目的とする。

物理学実験では、机上の理論による物質の物理学的性質を知るための理論的知識だけではなく、物理学の法則や考え方などを、実験・実習により立証・確認し、自然科学の実験・解析の基礎的素養を身につける。物理学実験テーマは、単振動、プランク定数測定、放射線計測である。3実験テーマを通じて、力学的現象、原子物理学・固体物理学的現象、放射線の性質など理解する。化学実験では、中和滴定、メチルオレンジの合成、アスピリンの合成を行い、基本的な薬品および実験器具の扱い方を身につけるとともに、化学反応に対する知識を深める。生物学実験では、タンパク質の呈色反応、染色体標本の作成と観察、生物の発生観察を行い、基本的な生物実験の実験器具の扱い方、顕微鏡を用いたサンプルの観察方法、生物資料の性質、形態、構造などを理解する。

学習目標 : 将来の基礎医学、保健科学の研究の基礎を学ぶために、物理学に関連した実験の実習を行う。実験器具の扱い方、実験の進め方、実験結果の表し方、レポートの書き方などを学ぶ。

(1) 実験内容・手順・結果などを、適切に実験ノートに記録できる。(2) 実験内容・手順・結果などを、実験ノートやグラフを提示し、簡潔に報告できる。(3) 実験内容・手順・結果・考察などを、レポートにまとめ、期日までに提出できる。(4) 誤差論を、実験データをもとに説明できる。(5) 単振動に関する実験を計画・実行できる。(6) プランク定数測定に関する実験を計画・実行できる。(7) 放射線計測に関する実験を計画・実行できる。(8) 中和滴定に関する実験を計画・実行できる。(9) メチルオレンジの合成に関する実験を計画・実行できる。(10) アスピリンの合成に関する実験を計画・実行できる。(11) タンパク質の呈色反応に関する実験を計画・実行できる。(12) 染色体標本の作成と観察に関する実験を計画・実行できる。(13) 生物発生の観察に関する実験を計画・実行できる。

テキスト : 初回ガイダンスにて「実験の手引き」を配布する。

参考書 : 吉田卯三郎他著「六訂 物理学実験」(三省堂)
化学同人編集部「実験を安全に行うために第8版」(化学同人)
化学同人編集部「続 実験を安全に行うために第4版 基本操作・基本測定編」(化学同人)
日本化学会「これだけは知っておきたい化学実験セーフティガイド」(化学同人)

成績評価方法 : レポート、実験ノート、受講態度などにより総合的に判定

その他 : 1. 実験内容について、前日までに予習しておくこと 2. スリッパ、ハイヒールは禁止
メッセージ等 3. 実習室内への飲食物の持込みは禁止
4. 実習中のスマートフォン、携帯電話の使用は禁止
5. 化学実験では、防護眼鏡、白衣を着用すること

実務経験のある教員が行う授業科目 : —

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1-3	4月11日	4-6	駅前	佐々木 道子 吉田 宏 五月女 康作 諸井 陽子 有吉健太郎	ガイダンス 実験の説明 レポートの作成方法の指導
4-12		4-6	駅前	吉田 宏 五月女 康作 諸井 陽子	物理学実験 (1) 単振動に関する実験 (2) プランク定数測定 (3) 放射線計測に関する実験
13-21		4-6	駅前	佐々木 道子	化学実験 (1) 中和滴定 (2) メチルオレンジの合成 (3) アスピリンの合成
22-30		4-6	駅前	有吉 健太郎	生物学実験 (1) タンパク質の呈色反応 (2) 染色体標本の作成と観察 (3) 生物発生の観察

4/25～6/20の火曜4～6限については、グループ（物理、化学、生物）に分かれて各実験をローテーションで行う。各自の日程については、初回のガイダンスで通知する。

科目名 : コミュニケーション論
英語名称 : Basic Communication
担当責任者 : 竹林由武
開講年次 : 1年前期 単位 授業形態 : 講義および演習
必修・選択 :

概要 : 将来の医療専門職としての活動を見据え、相手の立場を理解し、良好な人間関係を構築するためのコミュニケーションスキルを学ぶ。具体的には、心理学、行動科学的エビデンスに基づいて、1) 情報の受け取り方の個人差への理解を深め、2) コミュニケーションの土台となる非言語的なスキルや傾聴・共感のためのスキル、3) 情報を他者に適切に伝えるスキル、4) 患者主体の意思決定を支えるスキル、5) 他者の行動変容を支えるスキルを学び、患者の行動選択における医療従事
学習目標 : 一般目標
良好な人間関係を構築するためのコミュニケーションの重要性を理解し、対人支援に必要なコミュニケーションの基本技能を学修する。
行動目標
1)情報の受け取り方の個人差を理解できる
2)傾聴・共感をコミュニケーションの技術として理解し実践できる
3)行動科学的に有効な情報の伝え方、意思決定の支え方、行動変容の促し方の基本を理解し実践できる
テキスト : 本講義用に作成したレジюмеを配布する

参考書 : 堀越勝 (2015). ケアする人の対話スキル ABCD. 日本看護協会出版会.

成績評価方法 : 出席および受講態度 60%, 総合演習課題40%

その他 : 近年の医学コミュニケーション研究の動向を踏まえ、動機づけ面接法の諸技法、共同的意思決定、リスク認知やリスクリテラシー
メッセージ等 : など、行動科学に基づいたコミュニケーションに関連するトピックが網羅されるよう配慮した。ただし、座学は最小限にとどめ、演習を中心にスキルが身になるよう配慮する。
講義は適宜挿入する。

実務経験のある教員が行う授業科目 : 演習では3~4名1組で各回のテーマに沿ったロールプレイを実施する。
: ー

授業スケジュール / 担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	2023/04/14	2	駅前	健康リスクコミュニケーション学 講座 竹林由武講師 医療人育成支援センター 青木 俊太郎助教	医療従事者にとってコミュニケーションスキルがなぜ役立つか：導入(講義)
2	2023/04/21	2	駅前	同上	非言語コミュニケーション 1：マナー、服装、パーソナルスペースなど(講義, 演習)
3	2023/04/28	2	駅前	同上	非言語コミュニケーション2：傾き、相槌、姿勢、動作など(講義, 演習)
4	2023/05/12	2	駅前	同上	傾聴・共感のスキル1: 質問(講義, 演習)
5	2023/05/19	2	駅前	同上	傾聴・共感のスキル2: 聴き返し(講義, 演習)
6	2023/05/26	2	駅前	同上	傾聴・共感のスキル3: 是認(講義, 演習)
7	2023/06/02	2	駅前	同上	傾聴・共感のスキル4: 要約・情報交換(講義, 演習)
8	2023/06/09	2	駅前	神経精神医学講座 松本貴智助手	医学情報を伝えるスキル：アサーション(講義, 演習)
9	2023/06/16	2	駅前	健康リスクコミュニケーション学 講座 竹林由武講師 医療人育成支援センター 青木 俊太郎助教	情報がどのように人に伝わるか： 人間の情報処理過程とバイアス、 リスク認知(講義, 演習)
10	2023/06/23	2	駅前	同上	共同的意思決定1：クライアント 中心の意思決定支援の枠組み (講義, 演習)
11	2023/06/30	2	駅前	同上	共同的意思決定2：クライアント 中心の意思決定支援に必要なコ ミュニケーションスキルとツール
12	2023/07/07	2	駅前	同上	行動変容を支えるコミュニケー ションスキル1：チェンジトークと 維持トーク(講義, 演習)

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	2022/07/14	2	駅前	同上	行動変容を支えるコミュニケーションスキル2：チェンジトークと維持トーク(講義, 演習)
14	2022/07/21	2	駅前	同上	総合演習1(演習) これまでの講義で習得したコミュニケーションスキルの総括。模擬的医療コミュニケーション場面でのロールプレイ
15	2022/07/28	2	駅前	同上	総合演習2 まとめ(演習) これまでの講義で習得したコミュニケーションスキルの総括。模擬的医療コミュニケーション場面でのロールプレイと総括

自由記載(記載しない場合は必ず消してください)

科目名 : 言語と社会
英語名称 : Sociolinguistics
担当責任者 : 安田尚子
開講年次 : 1年 前期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 選択

概要 : この授業は社会言語学の入門クラスで、言語と社会の関わりについて様々なテーマを扱う。言語が個人間、コミュニティー、社会での情報発信にどのような役割を果たしているのかを世代別、性別、異文化交流、マンガアニメの言語などを通じて学ぶ。また、各回で扱う言語のテーマが私たちとどう関わっているのかを知ること、将来医療現場や実生活で円滑なコミュニケーションを図り、他者をより理解するための言語スキルと知識を身につける。

学習目標 : なぜ言語にバリエーションがあるのか様々な事例を通して理解する。
言葉が特定のコンテキストにおいてどういう意味で受け取られる可能性があるのか知り、より思いやりのあるコミュニケーションをとることができるようになる。
医療現場の様々な状況に応じ、適切な言葉の選択と誤解のない意思疎通ができるようになる。

テキスト : 適宜指示する

参考書 : 参考書：飯野公一・他著、「新世代の言語学」くろしお出版、金水敏著「役割語研究の展開」くろしお出版

成績評価方法 : クラス活動20%、ライティング課題20%、単語クイズ 10% , 中間・期末試験各25%

その他 : 今までに培った英語力を基に、書く・話すといったプロダクションレベルの力を身につけていきます。また、自分の意見を相手にわかりやすく伝えられるコミュニケーション能力をグループワークを通じて磨きましょう。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1			駅前	安田尚子	シラバス、LMS登録、その他 Introduction：社会言語学とは何か
2			駅前	安田尚子	話し方が与える印象：発音のバリエーション、若者イントネーション、セールストーク
3			駅前	安田尚子	若者ことば：部活敬語、変わる日本語（「ヤバイ」など）
4			駅前	安田尚子	方言とアイデンティティ：誰がいつ何処でなぜ方言を話すのか
5			駅前	安田尚子	言葉と文化のコンタクト：外来語、公用語
6			駅前	安田尚子	意味論：なぜ言いたいことが伝わらないのか。思いやりと言葉遣い
7			駅前	安田尚子	Unit男女の言葉：言語にみる男と女のコミュニケーション
8			駅前	安田尚子	review (class1-7)
9			駅前	安田尚子	役割語：マンガ・アニメの言語と現実、アイデンティティ、医療現場の役割語
10			駅前	安田尚子	文字とヴィジュアル言語：ニュアンスの関係
11			駅前	安田尚子	ステレオタイプと言語：メディアが和訳で使う一人称、吹き替え音声のトリック
12			駅前	安田尚子	非言語コミュニケーション：あなたの考え、正しく伝わってますか

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13			駅前	安田尚子	医療現場と言語：思いやりのある言葉とは、誤解のないコミュニケーション
14			駅前	安田尚子	プロジェクト発表
15			駅前	安田尚子	review (class 9-14)

科目名	: 心理学【保健1】
英語名称	:
担当責任者	: 有吉健太郎
開講年次	: 年 後 期 1 単位 授業形態 : 講義
必修・選択	: 理学療法学科、作業療法学科は必修、診療放射線科学科、臨床検査学科は選択、開講年次：1年次：理学療法学科、作業療法学科、臨床検査学科、3年次：診療放射線科学科
概要	: 心理学は、「こころ」やそれに関連する非常に幅広い事象について考えてきました。例えば、知覚、記憶、認知、性格、動機づけ、発達（新生児期～老年期まで）、対人行動、集団（集団内、集団間）、組織、文化、健康、心理的支援などが、心理学の研究対象となっています。この授業では、心理学の幅広い領域を概観し、「こころ」とそれに関連する事象の特徴や仕組みについて、心理学の視点からどのように理解するかについて学びます。
学習目標	: 1) 心理学の諸領域（知覚、感情、行動、記憶、認知、発達、動機づけ、社会心理、臨床心理、等）や関して、授業内容を基に正しく答えることができる。 2) 心理学の知識やその考え方・人間観について関心を持つ。
テキスト	: 特定のテキストは使用しない。講義内容に即したプリントを配付する。
参考書	: 講義の際に適宜紹介する。
成績評価方法	: 期末試験80%、授業内の小テストや課題20%で評価する。出席状況は、授業感想文や小テストの提出によって確認する。私語が多い、欠席・遅刻・早退が多い、授業で提示された課題や活動に取り組まないなど、授業態度が著しく不良な場合、期末試験の受験を認めない、あるいは期末試験の点数を減点することがある。
その他 メッセージ等	:
実務経験のある教員が行う授業科目	: —

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月28日	6	駅前	三澤文紀（総合科学教育研究センター）	オリエンテーション／ 知覚：錯視、恒常性、主観的輪郭、心理的現実
2	9月28日	7	駅前	三澤文紀（総合科学教育研究センター）	性格・知能：類型論・特性論・性格検査、知能の理論、知能検査
3	10月5日	6	駅前	三澤文紀（総合科学教育研究センター）	動機づけ：内発的動機づけ、自己効力、原因帰属
4	10月5日	7	駅前	井口善生（医学部附属施設生体機能研究部門）	脳と心①：行動／自律神経系、広範囲調節系、ホメオスタシスと動機づけ、性と脳
5	10月12日	6	駅前	井口善生（医学部附属施設生体機能研究部門）	脳と心②：感情／情動の学説、辺縁系、ストレスと健康、感情・不安障害の生物学的基盤
6	10月12日	7	駅前	井口善生（医学部附属施設生体機能研究部門）	脳と心③：記憶と学習／脳の可塑性、陳述・手続き・作業記憶、連合学習、大脳皮質と言語
7	10月19日	6	駅前	藤岡理恵子（福島大学）	発達①：人間の発達の特殊性，生涯発達，胎児期から青年期
8	10月19日	7	駅前	藤岡理恵子（福島大学）	発達②：成人前期，中年期，老年期
9	10月26日	6	駅前	小林智之（医学部災害こころの医学講座）	認知・社会心理①：認知、カテゴリー思考、ステレオタイプ
10	10月26日	7	駅前	小林智之（医学部災害こころの医学講座）	認知・社会心理②：偏見、差別、二重過程モデル
11	11月2日	6	駅前	小林智之（医学部災害こころの医学講座）	認知・社会心理③：恋愛、感情
12	11月2日	7	駅前	小林智之（医学部災害こころの医学講座）	認知・社会心理④：自己制御、自我枯渇

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	11月9日	6	駅前	小林智之（医学部 災害こころの医学 講座）	認知・社会心理⑤：説得、コミュニケーション
14	11月9日	7	駅前	三澤文紀（総合科 学教育研究セン ター）	ストレスの心理：ストレスと評価、コーピング、ソーシャル・サポート
15	11月16日	6	駅前	三澤文紀（総合科 学教育研究セン ター）	ストレスと臨床心理：ストレスと疾患、心の病と臨床心理学／全体のまとめ

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 倫理学【保健1】
英語名称 : Ethics
担当責任者 : 本多創史
開講年次 : 1年 前期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 倫理学は、個人がどう生きるべきか（個人道徳）を扱う学問であると同時に、法律や政策を含む社会制度はどうあるべきか（社会道徳）を扱う学問でもある。本講義では、この個人道徳と社会道徳の両方を倫理学の対象として取り上げることとする。
個人道徳は、各人がそれぞれ好きなように考えればよい、とか、法律は守るべきであるが倫理は守らなくてもよい、などといった考えに出くわすことがある。倫理学は、各人の好みを取り上げるものではないし、ある道徳的事柄を守るべきかどうかを考えるものでもない。そうではなくて、人が倫理的な判断を下す際、合理的に（筋道をたてて）考える作法を学ぶ学問である。本講義では、合理的に考えるための土台となる基本事項を概説する。

学習目標 : 人は、道徳的な問題についての直観的な解答をもっている。だが、その解答を当然視しているだけでは、未だ道徳について考えていることにはならない。「どうして自分はそう思うのか」という理由（根拠）をはっきりさせようとするところから「自分の頭で考える」ことが始まる。
倫理学とは、こうした日常的な道徳的観念に対する批判的反省である。「当たり前だと思えることを考え直す」という問題意識に触れることによって、倫理的な思索態度を身につけたい。

テキスト : 指定なし。ただしレジュメを配布する。

参考書 : 品川哲彦『倫理学入門』中公新書、2020 ISBN978-4-12-102598-2 C1212

成績評価方法 : レポート（リアクションペーパー5点×6回＝30点）、定期試験（70点）。

その他 : 社会のなかには善悪もしくは黑白つけがたい問題が数多くあります。これに対処するためには、考える
メッセージ等 ツールを持つことが必要であり、またそれを現実の問題に適用する力も必要です。この講義では、基本的な事柄から応用問題まで、ともに考える姿勢を重視して進めていきます。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月10日	3	駅前	本多創史	導入1：倫理学とはどのようなものか1
2	4月17日	3	駅前	本多創史	導入2：倫理学とはどのようなものか2
3	4月24日	3	駅前	本多創史	導入3：倫理学とはどのようなものか3
4	5月1日	3	駅前	本多創史	倫理理論1：倫理理論はなぜ必要か
5	5月8日	3	駅前	本多創史	倫理理論2：法や道徳はなぜ遵守しなければならないのか—社会契約説
6	5月15日	3	駅前	本多創史	倫理理論2：法や道徳はなぜ遵守しなければならないのか—社会契約説（つづき）
7	5月22日	3	駅前	本多創史	倫理理論3：正しい社会の構想—リベラル平等主義
8	5月29日	3	駅前	本多創史	倫理理論3：正しい社会の構想—リベラル平等主義（つづき）
9	6月5日	3	駅前	本多創史	倫理理論4：正しい社会の構想—リベタリアニズム
10	6月12日	3	駅前	本多創史	倫理理論5：功利主義
11	6月19日	3	駅前	本多創史	倫理理論5：功利主義（つづき）
12	6月26日	3	駅前	本多創史	倫理理論6：義務論

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月3日	3	駅前		倫理理論6：義務論（つづき）
14	7月10日	3	駅前		倫理理論7：徳倫理学/ケアの倫理学
15	7月24日	3	駅前		まとめ：医療と倫理

科目名 : 文学
英語名称 : Literature
担当責任者 : 澤 正宏
開講年次 : 5年 前期 2単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 選択

概要 : 日本の近代（明治、大正時代）から現代（昭和時代）にかけての文学の流れや、代表的な文学作品（主に小説、詩歌）を読むことによって、歴史的・文化的な背景をも学び、そのことで、人生における愛、死、運命、宗教的な救い、政治や社会との関わりなど、人間にとって生きることの意味についての思索を深め、幅広い視野に立って人間を理解し得る能力を養います。また、講義のなかでは、何回かは文学と医学との接点の問題も扱います。

学習目標 : 1. 近現代文学の背景である時代の政治的、文化的な特色を理解できる。
2. 近現代文学の作品（小説・詩歌）の歴史的な展開が理解ができる。
3. 近代・現代文学の作品（小説・詩歌）の内容が、作品の構成・構造を踏まえて理解ができる。
4. 近代・現代文学の作品（小説・詩歌）に表現されている愛、死、運命、宗教的な救いの問題、その主題と到達点について理解ができる。
5. 文学史的に重要な近代・現代文学の作品（小説・詩歌）の文化史的ないし文芸的な位置について説明できる。

テキスト : なし。授業者の作成した資料を毎時間使用する。

参考書 : 講義のテーマに合わせて、その都度、紹介する。

成績評価方法 : 全10回の講義のうち、7回以上出席することを条件として、前期の終わりに記述試験を行い、定められた点数評価によって成績評価を行う。

その他 : とくになし。

メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月13日	5	駅前	澤 正宏	オリエンテーション／人間とは何か／進化、心の形成と活動など
2	4月20日	5	駅前	同上	森鷗外「高瀬舟」
3	4月27日		駅前	同上	夏目漱石「夢十夜」
4	5月11日		駅前	同上	芥川龍之介「歯車」
5	5月18日		駅前	同上	金子みすゞの詩を読む
6	5月25日		駅前	同上	ハンセン病と文学
7	6月1日		駅前	同上	宮澤賢治「オツベルト象」
8	6月8日		駅前	同上	宮澤賢治「なめとこ山の熊」
9	6月15日		駅前	同上	中原中也の詩を読む
10	6月22日		駅前	同上	現代文学の始まり
11	6月29日		駅前	同上	高村光太郎詩集「智恵子抄」
12	7月6日		駅前	同上	戦争文学と大岡昇平「野火」

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月13日		駅前	同上	水俣病と文学
14	7月20日		駅前	同上	戦後文学の理念について
15	7月27日		駅前	同上	原爆と文学／原民喜の小説

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 歴史と社会【保健1】
英語名称 : History of Japanese Political thoughts
担当責任者 : 本多創史
開講年次 : 1年 前期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 選択

概要 : 本講義は、明治維新前後の日本を対象として、その激動の歩みを思想史の観点から論じるものである。歴史の講義ではあるが、年号や人物名等を暗記するのではなく、当時の人々の意識や考えを追体験しながら、維新に至る流れを思想の面から理解することを目的とする。
そもそも維新とは改革だったのであろうか、それとも革命だったのであろうか。個々の人々は維新をどのように捉えたのであろうか。それは何故なのか。こうした問題意識に立って、朱子学の登場からその解体、そして国学の登場までの流れを辿る。また、維新後に語られた国家構想や、アジアとの関係についても代表的な思想家を例に取って検討を加える。
学生諸君は、講義を漫然と聞くのではなく、当時の人々の考えや苦悩について、共に考えるよう努めてほしい。

学習目標 : 当時の人々が考えたことを、現代においても一度考えてみるという作業を通じて、他者の立場に身をおいて考えるという習慣を養成すること。
質の異なる2つ以上の考え方を比較し、その相違を説明できる力を身につけること。
自分が考えたことを、第三者にわかるように、平易かつ論理的に表現する力を身につけること。
歴史に関する幅広い教養を身につけ、異分野もしくは様々な年齢層の人々と豊かなコミュニケーションを図ることができるようになること。

テキスト : 指定なし。ただしテキストに該当する詳細なレジユメを配布する。

参考書 : 渡辺浩『日本政治思想史』東京大学出版会、2010. 米原謙『日本政治思想』ミネルヴァ書房、2007. 丸山真男『日本政治思想史研究』東京大学出版会、1983.

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 : 歴史というと暗記をイメージする人が多いかもしれませんが。この講義は、そうしたイメージとはかけ離れたものになるでしょう。先人たちとともに、解決困難な問題について考えるという作業が中心だからです。それは、知的好奇心をかきたてられますし、考える力を養うことにもつながるでしょう。こうしたことの故に、学期末試験では、年号や人物名を暗記してきたかどうかを問いません。すべての持ち込みを許可したうえで、学生諸君の考える力を問う応用問題（論述式）を中心に出题します。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月13日	4	駅前	本多創史	開講の辞：「日本」とは何か。維新前後と現代社会との対比。自己哲学のために。
2	4月20日	4	駅前	本多創史	徳川政治体制と儒学者：公方と禁裏。儒学と政治体制との関係。
3	4月27日	4	駅前	本多創史	徳川社会における儒学：家、夫子、夫婦、士。
4	5月11日	4	駅前	本多創史	古学の思想：朱子学の基本思想と伊藤仁斎。
5	5月18日	4	駅前	本多創史	古学の思想：荻生徂徠の思想的特徴。
6	5月25日	4	駅前	本多創史	「皇朝学び」：徂徠学の解体、賀茂真淵の登場。
7	6月1日	4	駅前	本多創史	国学の思想：本居宣長の思想。
8	6月8日	4	駅前	本多創史	「御武威」から「皇威」へ：御威光と象徴、幻滅と復古と。
9	6月15日	4	駅前	本多創史	「復古」と「公儀」：天子とは誰か。公儀公論による統治へ。
10	6月22日	4	駅前	本多創史	福沢諭吉の思想①：人と著作。『福翁自伝』の紹介。
11	6月29日	4	駅前	本多創史	福沢諭吉の思想②：文明と一身の独立、国民の創出、アジアへの視線。
12	7月6日	4	駅前	本多創史	中江兆民の思想①：人と著作。

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月13日	4	駅前	本多創史	中江兆民の思想②：「理義」の政治の可能性。
14	7月20日	4	駅前	本多創史	アジア主義：日露戦争と「黄禍論」、日中提携論
15	7月27日	4	駅前	本多創史	閉講の辞：自分自身の世界観を広げるために。

科目名 : 福島県の医療環境 【保健1】
英語名称 :
担当責任者 : 矢吹省司
開講年次 : 1年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 福島県は総面積が広く、7地域（相双・いわき・県北・県中・県南・会津・南会津）に分かれており、地域別の特色がある。南会津地域は高齢化が顕著であり、相双地域は東日本大震災後の原発事故後に避難指示区域の状況が長期間続いたことにより、医療インフラが不十分である。この科目では、東日本大震災とはどのような震災だったのかとその影響について学ぶ。さらに各地域での医療環境の特徴について理解する。これらをもとに福島県で専門医療技術者が今後、どのようなことを担っていけるのかをグループワークによって議論し、発表する。本学部がキーワードとしている「地域医療」及び「危機対応・災害医療」に関連する科目である。

学習目標 : (1) 福島県の医療の現状について説明できる。
(2) 災害が医療にもたらす影響について説明できる。
(3) 過疎地域医療支援の重要性について説明できる。
(4) 災害や地域医療支援に関連し、専門医療技術者にはどのようなことが必要となるのか考え、説明できる。
(5) 必要な情報を検索・収集し、論理的に考え、自らの意見を発信できる。

テキスト : 特定のテキストはありません。

参考書 : 福島県ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp>
福島県ホームページ 地域医療課
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21045c/>

成績評価方法 : 定期試験90%、教員によるグループ評価10%

その他 : 定期試験90%、教員によるグループ評価10%
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : -

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月22日	5	駅前	菅家智史 (地域・家庭医療学講座の菅家)	福島県の医療の現状について① 総論及び地域医療・へき地医療
2	9月29日	5	駅前	長谷川有史 (医学部放射線災害医療学講座)	福島県の医療の現状について② 災害時・後の医療への影響
3	10月6日	5	駅前	大平哲也 (医学部疫学講座)	福島県の医療の現状について③ 福島県の疾病罹患動向など
4	10月13日	5	駅前	矢吹省司・岡崎可奈子 澄川幸志 三浦里織	講義 震災後の福祉・医療機関に関連して + 10月18日見学実習のオリエンテーション
5	10月18日	1~7	駅前	矢吹省司・岡崎可奈子・柴喜崇 澄川幸志 佐藤久志 三浦里織	備考欄参照
6	10月18日	1~7	駅前	矢吹省司・岡崎可奈子・柴喜崇 澄川幸志 佐藤久志 三浦里織	災害関連機関への見学実習 50名(教員含む) G×3(A、B、C) 各ルート
7	10月18日	1~7	駅前	矢吹省司・岡崎可奈子・柴喜崇 澄川幸志 佐藤久志 三浦里織	災害関連機関への見学実習 50名(教員含む) G×3(A、B、C) 各ルート
8	10月20日	5	駅前	佐竹秀一 (福島県立南会津病院)	災害後の医療の現状
9	10月27日	5	駅前	小野田修一 (南相馬市立総合病院)	災害後の医療の現状
10	11月10日	5	駅前	矢吹省司・岡崎可奈子・柴喜崇 澄川幸志 佐藤久志 三浦里織	グループワーク5名G×29 福島県の医療の特徴を調査する、現状や課題について考え、専門医療技術者が今後、どのようなことを担っていかれるのかを議論し、ポスターにまとめる
11	11月17日	5	駅前	矢吹省司・岡崎可奈子・柴喜崇 澄川幸志 佐藤久志 三浦里織	グループワーク5名G×29 福島県の医療の特徴を調査する、現状や課題について考え、専門医療技術者が今後、どのようなことを担っていかれるのかを議論し、ポスターにまとめる
12	11月24日	5	駅前	矢吹省司・岡崎可奈子・柴喜崇 澄川幸志 佐藤久志 三浦里織	グループワーク5名G×29 福島県の医療の特徴を調査する、現状や課題について考え、専門医療技術者が今後、どのようなことを担っていかれるのかを議論し、ポスターにまとめる

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	12月8日	5	駅前	矢吹省司・岡崎可奈子・柴喜崇 澄川幸志 佐藤久志 三浦里織	ポスター発表（4分）：7グループ 質問（3分）：7グループ
14	12月15日	5	駅前	矢吹省司・岡崎可奈子・柴喜崇 澄川幸志 佐藤久志 三浦里織	ポスター発表（4分）：8グループ 質問（3分）：7グループ+矢吹
15	12月22日	5	駅前	総括講義	総括講義

災害関連機関への見学実習

50名（教員含む）G×3(A、B、C)

Aグループ

福島(発)⇒①アーカイブ（県）

双葉町⇒②廃炉資料館（東電）

富岡町⇒福島（着）

Bグループ

福島（発）⇒②廃炉資料館（東電）富岡町⇒③福島県環境創造センター（県）三春町⇒福島（着）

Cグループ

福島（発）⇒③福島県環境創造センター（県）三春町⇒①アーカイブ（県）双葉町⇒福島（着）

科目名 : 英語 1 A
英語名称 : English 1A
担当責任者 : 安田尚子
開講年次 : 1 年 前 期 1 単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 英語でのコミュニケーション能力を高めるための基礎的な知識とlistening, speaking, reading, writingの4技能を総合的に学習する。日常生活と関連した種々のトピックを題材として、個々の場面において英語で効果的なコミュニケーションを図るための基礎を養う。授業中の活動とし、ペア・グループワークで課題に取り組み、それらの活動を通して実践的なproductive skills(speaking & writing)の向上を図る。この授業は学部共通で、同一時間帯に1～3班に分かれて行われる。

学習目標 : 基本的な語句・表現を用いて意思疎通ができる。
日常会話で用いられる基本的な語句・表現を適切に発音できる。
文化的・社会的背景を含めて、話し手の意図が理解できる。
対話を通して自分の意図を正しく伝えることができる。
場面や文脈に応じた表現の使い分けができる。

テキスト : Kristin L. Johannsen, Martin Milner, Rebecca Tarver Chase “World English 2”センゲージラーニング社、2014年、ISBN-13: 978-1285848709

参考書 : 参考書：適宜指示する

成績評価方法 : クラス活動20%、ライティング課題20%、単語クイズ 10% , 中間・期末試験各25%

その他 : 今までに培った英語力を基に、書く・話すといったプロダクションレベルの力を身につけていきます。また、自分の意見を相手にわかりやすく伝えられるコミュニケーション能力をグループワークを通じて磨きましょう。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Introduction: syllabus, Log in to LSM, classroom English, self-introduction, questions, common
2			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 1-1
3			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 1-2
4			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 1-3
5			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 2-1
6			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 2-2
7			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 2-3
8			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	review (class1-7)
9			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 3-1
10			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 3-2
11			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 3-3
12			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 4-1

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 4-2
14			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 4-3
15			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	review (class 9-14)

科目名 : 英語 1 B
英語名称 : English 1B
担当責任者 : 安田尚子
開講年次 : 1 年 後 期 1 単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 英語でのコミュニケーション能力を高めるための基礎的な知識とlistening, speaking, reading, writing の4技能を総合的に学習する。日常生活と関連した種々のトピックを題材として、個々の場面において英語で効果的なコミュニケーションを図るための基礎を養う。授業中の活動とし、ペア・グループワークで課題に取り組み、それらの活動を通して実践的なproductive skills(speaking & writing)の向上を図る。この授業は学部共通で、同一時間帯に1～3班に分かれて行われる。

学習目標 : 基本的な語句・表現を用いて意思疎通ができる。
日常会話で用いられる基本的な語句・表現を適切に発音できる。
文化的・社会的背景を含めて、話し手の意図が理解できる。
対話を通して自分の意図を正しく伝えることができる。
場面や文脈に応じた表現の使い分けができる。

テキスト : Kristin L. Johannsen, Martin Milner, Rebecca Tarver Chase “World English 2”センゲージラーニング社、2014年、ISBN-13: 978-1285848709

参考書 : 参考書：適宜指示する

成績評価方法 : クラス活動20%、ライティング課題20%、単語クイズ 10% , 中間・期末試験各25%

その他 : 今までに培った英語力を基に、書く・話すといったプロダクションレベルの力を身につけていきます。また、自分の意見を相手にわかりやすく伝えられるコミュニケーション能力をグループワークを通じて磨きましょう。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Introduction: syllabus, etc.
2			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 5-1
3			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 5-2
4			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 5-3
5			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 8-1
6			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 8-2
7			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 8-3
8			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	review (class1-7)
9			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 11-1
10			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 11-2
11			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 11-3
12			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 12-1

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 12-2
14			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	Unit 12-3
15			駅前	安田尚子 久保田恵佑 金井典子	review (class 9-14)

科目名 : ドイツ語
英語名称 : German
担当責任者 : 九頭見和夫
開講年次 : 1年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 選択必修

概要 : グローバル化している世界の中で、私たちがしなければならないことは、世界を知ることだと思います。この授業では、この視点に立って、明治時代以降日本と深い関わりを持つようになったドイツを中心に、スイス、オーストリア等ドイツ語圏の国々を少しでも理解できるよう、ドイツ語を学習します。

学習目標 : 1) 文章を正確に発音し、内容を理解することができる。
2) 短い文章を作り、相手に自分の考えを伝えることができる。
3) ドイツ語圏の生活や歴史等に興味を持ち、学習することができる。

テキスト : 第1回の授業の時に指示します。

参考書 :

成績評価方法 : 全授業回数の3/4以上の出席を評価の条件とします。その上で試験の成績、質問への回答など授業への積極的な参加、小テスト、レポート等を総合して最終成績を決定します。

その他 : グローバル化している世界の中では、福島とか、日本とか限定された範囲でメッセージ等ではなく、広く世界に目を向けることを期待します。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月28日	5限	駅前	九頭見和夫	ガイダンス 全体の授業計画。
2	10月5日	5限	駅前	九頭見和夫	ドイツの概説（1） ドイツ連邦共和国について。
3	10月12日	5限	駅前	九頭見和夫	ドイツの概説（2） ヨーロッパの言語とドイツ語。
4	10月19日	5限	駅前	九頭見和夫	ドイツ語の発音 アルファベットと発音の規則。
5	10月26日	5限	駅前	九頭見和夫	文法、会話 動詞の現在人称変化（1） 簡単な日常会話
6	11月2日	5限	駅前	九頭見和夫	文法、ドイツ事情 ドイツ語の文型。ドイツの食文化。数詞。
7	11月9日	5限	駅前	九頭見和夫	文法、ドイツ事情 名詞の性、数、格。ドイツの歴史と宗教。
8	11月16日	5限	駅前	九頭見和夫	文法、ドイツ事情 定冠詞と不定冠詞。ドイツの教育制度。
9	11月30日	5限	駅前	九頭見和夫	授業のまとめ 中間試験について。ドイツのサッカー。
10	12月7日	5限	駅前	九頭見和夫	中間試験 授業の理解度をみる。
11	12月14日	5限	駅前	九頭見和夫	文法、ドイツ事情 名詞の複数形（1）。ドイツ人の余暇・休暇。
12	12月21日	5限	駅前	九頭見和夫	文法、ドイツ事情 名詞の複数形（2）。グリム童話。

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	1月18日	5限	駅前	九頭見和夫	文法、ドイツ事情 動詞の現在人称変化（2）。ドイツの休日。
14	1月25日	5限	駅前	九頭見和夫	文法、他 命令形。医学用のドイツ語（1）。
15	2月1日	5限	駅前	九頭見和夫	授業のまとめ 期末試験について。医学用のドイツ語。

科目名 : フランス語
英語名称 : French
担当責任者 : レジス・ドラビゾン
開講年次 : 1年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 選択必修

概要 : 挨拶、ウォーミングアップ、主席、国際交流活動、宿題の丸付け、新しい会話、単語、文法、などの勉強

学習目標 : 会話中心で、フランス語はどういう言葉なのか、フランスやカナダはどんな国なのか勉強することがこの授業の第一目標です。単語の勉強が多いのですが文法が軽いです。

テキスト : Ensemble (KOHGAKUSHA)

参考書 :

成績評価方法 : 出席+交流活動(20点), 小テスト(30点), 期末試験(50点)

その他 : 毎週1時間以内の宿題が必要です。
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月28日	3限	駅前	レジス・ドラビゾン	会話1 (p.7) 国籍、職業 Ex.1,2,3,4
2	10月5日	3限	駅前	レジス・ドラビゾン	同上+数字、自己紹介 Ex.5,6,7 宿題：ex.8,10, 自己紹介の暗記
3	10月12日	3限	駅前	レジス・ドラビゾン	会話2 (p.15) 小テスト1、 p.15,ex.8,10,14 宿題： ex.20,23
4	10月19日	3限	駅前	レジス・ドラビゾン	同上+数字 宿題： ex.25,27
5	10月26日	3限	駅前	レジス・ドラビゾン	会話3 (p.27) 宿題： ex.28,29,30,31
6	11月2日	3限	駅前	レジス・ドラビゾン	同上 宿題： ex.33,37,38,39
7	11月9日	3限	駅前	レジス・ドラビゾン	同上+シャンソン(フランスの歌) 小テスト2(p.27) 宿題： ex.42,43,p.36
8	11月16日	3限	駅前	レジス・ドラビゾン	会話4 (p.36) 宿題： ex.44,46,47,49,50
9	11月30日	3限	駅前	レジス・ドラビゾン	同上+数字 宿題： ex.51
10	12月7日	3限	駅前	レジス・ドラビゾン	同上+12個の質問 宿題： ex.55
11	12月14日	3限	駅前	レジス・ドラビゾン	会話5 (p.44) 宿題： ex.56,57,58,61,62,65 + 質問の練習
12	12月21日	3限	駅前	レジス・ドラビゾン	同上 小テスト3(12個の質問)3 宿題： ex.66,67,68,69

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	1月18日	3限	駅前	レジス・ドラビゾン	会話6 (p.49) 宿題： 期末試験のための勉強
14	1月25日	3限	駅前	レジス・ドラビゾン	学習のまとめ p.53,ex.73,74,75,76,77
15	2月1日	3限	駅前	レジス・ドラビゾン	学習のまとめ 復習

科目名 : 中国語
英語名称 : Chinese
担当責任者 : 池澤實芳
開講年次 : 1年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 選択必修

概要 : この授業は、基礎的な中国語の訓練を行なうことと、中国の社会や文化への興味・関心を持つ態度を身につけることにより、中国語のコミュニケーション能力の修得を目的とする。

学習目標 : 中国語(普通話)の発音、基本的な文法事項、基本的な語彙・構文を身につけ、平易な日常会話の訓練を通して、中国語の基礎を修得するとともに、あわせて視聴覚教材などを通して、中国の社会や文化への興味・関心を持つ態度を培う。以上の学習目標を達成するための具体的な学習目標として、以下の5点を修得することが望ましい。
(1)ピンインを付した基礎的な語彙や短文を正確に発音できる。
(2)基礎的な語彙や短文を聞いて理解し、簡体字とピンインで書き取ることができる。
(3)挨拶など平易で簡単な日常会話ができる。
(4)目的にあわせて中国語の簡単な文を作ることができる。
(5)中国の文化や社会について、断片的ながら初歩的・基礎的な知識を修得するとともに、中国への知的関心を持とうとする態度を身につけることができる。

テキスト : 陳淑梅、劉光赤『しゃべっていいとも中国語 中西君と一緒に中国へ行こう!』(2022年3月、朝日出版社)

参考書 : 適宜教室で紹介する。

成績評価方法 : テキストレポート・視聴覚教材レポートなど(60%~70%)、定期試験(30%~40%)により、総合的に評価する。

その他 : シラバスは一応の目安です。実際の授業では、さまざまな要因により、若干の変更がある場合もあります。テキストの本文は、会話体で構成されています。できるだけ会話を中心にした楽しい授業を心がけるつもりです。

実務経験のある教員が行う授業科目 : —

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月28日	5限	駅前	池澤實芳	導入：当該授業の学習目標、評価方法などの説明／漢語、普通話について
2	10月5日	5限	駅前	池澤實芳	第1課：発音(1)音節、声調
3	10月12日	5限	駅前	池澤實芳	第1課：発音(1)変調、ドリル
4	10月19日	5限	駅前	池澤實芳	第2課：発音(2)単母音、複母音
5	10月26日	5限	駅前	池澤實芳	第2課：発音(2)ドリル
6	11月2日	5限	駅前	池澤實芳	第3課：発音(3)子音1、有気音、無気音
7	11月9日	5限	駅前	池澤實芳	第3課：発音(3)ドリル
8	11月16日	5限	駅前	池澤實芳	第4課：発音(4)子音2、鼻音、r化
9	11月30日	5限	駅前	池澤實芳	第4課：発音(4)ドリル
10	12月7日	5限	駅前	池澤實芳	第5課：迎接 ポイント1, 2 名前のいい方、練習
11	12月14日	5限	駅前	池澤實芳	第5課：本文、ワードバンク、ドリル
12	12月21日	5限	駅前	池澤實芳	視聴覚教材鑑賞、感想文

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	1月18日	5限	駅前	池澤實芳	第6課：歓迎会 ポイント1, 2
14	1月25日	5限	駅前	池澤實芳	第6課：本文、ワードバンク、ドリル
15	2月1日	5限	駅前	池澤實芳	授業のまとめ、短文読解

科目名 : スペイン語
英語名称 : Spanish
担当責任者 : セシリア・シルバ
開講年次 : 5年 後期 単位 授業形態 : 対面講義
必修・選択 :

概要 : この授業では、ビデオ教材、ゲーム、音楽、美術を使用した様々な教室活動を通してスペイン語の基礎を学ぶ。自己紹介の仕方、人と知り合う表現（名前、出身地、年齢、家族、大学、趣味等を聞いたり話したりする）、文法項目としては主語とser動詞、「持つ」tener動詞を中心に学ぶ。学生達の興味と生活に密着したビデオ教材を使用し、文法、聞き取りとコミュニケーションの練習を行う。更に、スペイン語圏の国々の文化について内容を紹介する。

学習目標 : スペイン語の基礎的運用能力を身に付けると同時にスペイン語圏の文化について理解を進める。

テキスト : 教材配布

参考書 : 土井光子・石村あつ 2008 文法から学ぶスペイン語・ナツメ社

成績評価方法 : アクティビティへの参加10%、宿題20%、小テスト60%、授業課題（作文・オーラル）10%。

その他 : 全授業での活動、学びを評価の対象とします。その上で試験の成績、授業へメッセージ等の積極的な参加、小テスト、宿題等を総合して最終成績を決定します。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月28日	5	駅前	セシリア・シルバ	挨拶・自己紹介（1）主語とbe動詞
2	10月5日	5	駅前	セシリア・シルバ	アルファベット・発音
3	10月12日	5	駅前	セシリア・シルバ	数字・自己紹介（2） 文法：疑問詞・名詞・be動詞
4	10月19日	5	駅前	セシリア・シルバ	数字・自己紹介（2） 文法：冠詞・名詞・be動詞
5	10月26日	5	駅前	セシリア・シルバ	自己紹介（3） 文法：be動詞、vivir動詞、tener動詞
6	11月2日	5	駅前	セシリア・シルバ	自己紹介（3） 文法：疑問詞・be動詞、vivir動詞、tener動詞
7	11月9日	5	駅前	セシリア・シルバ	三人称紹介 文法：疑問詞・be動詞、vivir動詞、tener動詞
8	11月16日	5	駅前	セシリア・シルバ	まとめ1 文化紹介 課題1提出
9	11月30日	5	駅前	セシリア・シルバ	気に入る (likes /dislikes) 文法：gustar動詞
10	12月7日	5	駅前	セシリア・シルバ	職業 文法：主語be動詞・職業名詞
11	12月14日	5	駅前	セシリア・シルバ	外見・性格 文法：形容詞
12	12月21日	5	駅前	セシリア・シルバ	家族 文法：主語（親戚）be動詞・形容詞・職業名詞

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	1月18日	5	駅前	セシリア・シルバ	復習・文化紹介
14	1月25日	5	駅前	セシリア・シルバ	Wrap upまとめ2（聴き取り・作文）レポート提出 ・ 課題2提出
15	2月1日	5	駅前	セシリア・シルバ	発表提出 期末テスト

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 解剖学概論 【保健1】
英語名称 :
担当責任者 : 小俣純一
開講年次 : 1年 前期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 解剖学概論は専門医療技術者の基盤となる正常な人体の基本的な構造を学び、疾病を理解するための基礎を修得する。具体的には発生、骨格、筋系、脈管系、消化器系、呼吸器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、神経系、感覚器系、平衡機能系、脳、細胞についての構造や働き、その関係性を理解する。また、さまざまな疾病になることで起こる身体の変化や病態についても解剖的視点から学び、理解する。授業は講義を主体とするが、一部演習も行う。

学習目標 : (1) 人体の基本的な構造を理解して、説明できる。
(2) 人体の骨・関節等を大まかに理解して、説明できる。
(3) 脳、様々な臓器の概要を理解して、説明できる。

テキスト : ムーア臨床解剖学 第3版

参考書 : ネットー解剖学アトラス原書第6版 その他のアトラスも可

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 : 医療の世界で生きていくために必要な知識の基盤となる科目である。
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : -

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
	4月11日		駅前		オリエンテーション 人体の基本的な構造
	授業スケジュールおよび担当教員等については、別途配布します。				細胞の構造と機能 消化器系 泌尿器系 生殖器系 心臓・動脈・静脈系・リンパ系
					骨の構造と成長 骨のリモデリング 骨盤・四肢の骨と関節 呼吸器系 頭部・顔面骨・脊柱・胸郭
					筋系、神経系、感覚器系 発生・脳 内分泌系 視覚器、平衡聴覚器、皮膚受容器

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 解剖学各論 【保健1】
英語名称 :
担当責任者 : 小俣純一
開講年次 : 1年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 診療放射線科および臨床検査に特に必要性の高い発生・呼吸・循環・神経・内分泌・脳・生殖器・感覚および筋骨格について集中的に理解を深める。今後、専門科目で重要となる画像検査に関わる知識やさまざまな検査に必要な知識を十分に活用するための基盤を作る。さらに発生を含めて、それぞれの臓器の機能や作用について理解して、それぞれの関係性にも着目して身体に関する理解を深める。授業は講義を主体とするが一部演習も行う。

学習目標 : (1)骨、関節および臓器の様々な部位を理解して、説明できる。
(2)それぞれの臓器の関係性を理解して、説明できる。
(3)脳・脳神経に関する働き等をしっかり理解して、説明できる。

テキスト : ムーア臨床解剖学 第3版

参考書 : ネットー解剖学アトラス原書第6版 その他のアトラスも可

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 : 定期試験100%
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : -

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	10月2日	7	駅前	鈴木弘行（呼吸器外科学講座）	呼吸器系
2	9月26日	3	駅前	矢吹省司	骨・筋・関節
3	9月26日	5	駅前	林博史	脳・脳神経
4	9月27日	7	駅前	胡口智之（泌尿器科学講座）	泌尿器系
5	未定		駅前	未定（泌尿器科学講座）	男性生殖器
6	12月7日	4	駅前	添田周（産科婦人科学講座）	女性生殖器
7	10月3日	3	駅前	丸橋繁（肝胆膵・移植外科学講座）	肝臓・胆嚢・膵臓・排泄
8	10月4日	4	駅前	小川一英	血液
9	9月27日	4	駅前	義久精臣	心臓
10	9月27日	5	駅前	義久精臣	動脈、リンパ系
11	9月27日	6	駅前	岡山洋和（消化管外科学講座）	消化管
12	9月26日	6	駅前	西山慶治（郡山女子大学）	感覚器系

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	9月26日	7	駅前	西山慶治（郡山女子大学）	内分泌系
14	10月3日	4	駅前	八木沼洋行（神経解剖・発生学講座）	神経系（脊髄神経）
15	10月3日	5	駅前	八木沼洋行（神経解剖・発生学講座）	発生

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 解剖学演習 【保健1】
英語名称 :
担当責任者 : 小俣純一
開講年次 : 1年 後期 1単位 授業形態 : 演習
必修・選択 :

概要 : 解剖学概論および解剖学各論において修得した基礎的な知識を、御遺体を用いて解剖知識を応用できるように講義・演習を行うことにより、さらに理解を深める。臓器や筋骨格、さまざまな身体の構造を3次的に理解して、性別による違いや個体差についても理解する。授業は、小グループに分かれて肉眼解剖の見学を通して、知識を深めるための講義を実施する。また、グループワークにより人の身体の構造の理解と個体差などについての理解を深める。

学習目標 : (1) 遺体で、筋・関節・神経・脈管について、同定できる。
(2) 遺体で、臓器・脳について、同定できる。
(3) 解剖実習を通して、人の身体の構造等を理解するだけでなく、献体という志の高い偉業について考えて、御遺体に対する礼儀や感謝を含めて人としての涵養を高める。

テキスト : ムーア臨床解剖学 第3版

参考書 : ネットー解剖学アトラス原書第6版 その他のアトラスも可

成績評価方法 : レポート100%

その他 : 人の身体の構造はどうなっているか？個々の違いや正常とは何か？
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : -

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
	10月16日	6	駅前	小俣純一	オリエンテーション
	11月15日	5～7	光が丘	小俣純一 八木沼洋行（神経解剖・発生学講座） 和栗聡（解剖組織学講座）	解剖見学
	11月21日	4～7	光が丘	小俣純一 八木沼洋行（神経解剖・発生学講座） 和栗聡（解剖組織学講座）	解剖見学
	11月22日	5～7	光が丘	小俣純一 八木沼洋行（神経解剖・発生学講座） 和栗聡（解剖組織学講座）	解剖見学
	12月19日	4～7	駅前	小俣純一	グループワーク 発表

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 組織学
英語名称 : Histology
担当責任者 : 長谷川功紀
開講年次 : 1年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 組織学は生化学、生理学、病理学と密接に関連しており、それらの理解のためにも必須の学問である。ヒトの体は、分子、細胞内小器官、細胞、組織、器官、器官系、個体と階層的に構成されている。光学顕微鏡や電子顕微鏡の画像から正常組織の微細構造を観察し、そして階層構造を理解し、また組織の構成を学び、構成する細胞同士の相互作用、さらにその機能的意義についても理解を深める。構造のあるところに機能が生まれるという考え方にに基づき、形態から機能への関連を学ぶ。

学習目標 : 1. 上皮組織、結合組織、骨組織、筋組織、神経組織の構成細胞や組織構造について説明できる。
2. 組織から形成される各器官について構成細胞や組織構造を理解し機能発現との関わりについて説明できる。

テキスト : 1. Ross組織学 原書第7版 南江堂 内山安男、相磯貞和（監） 2019年

参考書 : 1. カラーアトラス機能組織学 原書第2版 医歯薬出版 河田光博、小路武彦（監） 2013年
2. 標準組織学・総論 第6版 医学書院 藤田尚男（著） 2022年
3. 標準組織学・各論 第6版 医学書院 藤田尚男（著） 2022年

成績評価方法 : 定期試験80%、小テスト20%

その他 : 科学的手法としては、観察から仮定を導き、実験により検証するというのが基本です。組織学は、顕微鏡で観察を行い、形態から機能を導くという、科学の根本原理に基づいた学問です。そして生化学、生理学、病理学を理解するうえでも組織学はその礎となる学問となります。基本となる組織学をしっかりと身に付け、盤石な知識の礎を築きましょう。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月27日	1	駅前	長谷川功紀	総論：細胞
2	10月4日	1	駅前	長谷川功紀	総論：上皮組織、結合組織
3	10月11日	1	駅前	長谷川功紀	総論：骨・筋組織
4	10月25日	1	駅前	長谷川功紀	総論：神経組織
5	11月1日	1	駅前	小川一英	各論：血液・骨髄
6	11月8日	1	駅前	宇月美和	各論：循環器・脈管
7	11月15日	1	駅前	長谷川功紀	各論：リンパ性器官
8	11月22日	1	駅前	宇月美和	各論：消化器（消化管）
9	11月29日	1	駅前	宇月美和	各論：消化器（肝、胆、膵）
10	12月6日	1	駅前	長谷川功紀	各論：呼吸器
11	12月13日	1	駅前	長谷川功紀	各論：泌尿器
12	12月20日	1	駅前	長谷川功紀	各論：男性生殖器

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	12月27日	1	駅前	長谷川功紀	各論：女性生殖器
14	1月17日	1	駅前	長谷川功紀	各論：内分泌
15	1月24日	1	駅前	長谷川功紀	各論：皮膚、感覚器

科目名 : 組織学実習
英語名称 : Practice of histology
担当責任者 :
開講年次 : 1年 後期 1単位 授業形態 : 実習
必修・選択 : 必修

概要 : 組織学実習では、染色され視認可能となった組織切片を顕微鏡で観察・スケッチすることで、組織学で学んだ知識の定着を図る。染色技術により分子は可視化される。そして顕微鏡での観察を通して、組織中での分子局在、細胞局在、細胞同士の相互作用、そして組織の構成を学ぶことができる。ヒトの体が、分子、細胞内小器官、細胞、組織、器官、器官系、個体と階層的に構成されていることを目で見えて理解する。そして構造のあるところに機能が生まれるという考え方にに基づき、形態から機能への関連を観察から学習する。

学習目標 : 1. 基本的な顕微鏡操作ができる。
2. 各組織の構成細胞や組織構造について理解し機能発現との関わりについて説明できる。

テキスト : 1. Ross組織学 原書第7版 南江堂 内山安男、相磯貞和（監） 2019年

参考書 : 1. カラーアトラス機能組織学 原書第2版 医歯薬出版 河田光博、小路武彦（監） 2013年
2. 標準組織学・総論 第6版 医学書院 藤田尚男（著） 2022年
3. 標準組織学・各論 第6版 医学書院 藤田尚男（著） 2022年

成績評価方法 : スケッチ及び口頭試問80%、レポート20%

その他 : 組織は様々な細胞で構成されています。その構成は、機能に立脚した、秩序だった局在を示し、時に美しさを感じます。組織学で学んだ理論を、実際の組織切片を観察することで、画像として脳に留めてください。そしてヒトの体の成り立ちの美しさを体感してください。組織学が好きになれば、関連する科目としての生化学、生理学、病理学も好きになれるはずです。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1~ 2	9月27日	2~3	駅前	長谷川功紀	顕微鏡の使い方、細胞の観察
3~ 4	10月4日	2~3	駅前	長谷川功紀	上皮組織、結合組織の観察
5~ 6	10月11日	2~3	駅前	長谷川功紀	骨・筋組織の観察
7~ 8	10月25日	2~3	駅前	長谷川功紀	神経組織の観察
9~ 10	11月1日	2~3	駅前	小川一英	血液・骨髄組織の観察
11 ~ 12	11月8日	2~3	駅前	宇月美和	心臓組織・脈管の観察
13 ~ 14	11月15日	2~3	駅前	長谷川功紀	リンパ性器官の観察
15 ~ 16	11月22日	2~3	駅前	宇月美和	消化器系組織の観察 (主に消化管)
17 ~ 18	11月29日	2~3	駅前	宇月美和	消化器系組織の観察 (主に肝、胆、膵)
19 ~ 20	12月6日	2~3	駅前	長谷川功紀	呼吸器系組織の観察
21 ~ 22	12月13日	2~3	駅前	長谷川功紀	泌尿器系組織の観察
23 ~ 24	12月20日	2~3	駅前	長谷川功紀	男性生殖器組織の観察

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25 ~ 26	12月27日	2~3	駅前	長谷川功紀	女性生殖器組織の観察
27 ~ 28	1月17日	2~3	駅前	長谷川功紀	内分泌器官の観察
29 ~ 30	1月24日	2~3	駅前	長谷川功紀	皮膚、感覚器官の観察

科目名 : 生理学 I
英語名称 : Physiology I
担当責任者 : 義久 精臣
開講年次 : 1 年 前 期 1 単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 生理学は身体とそれを構成している細胞や組織、器官や臓器についての正常な機能に関して学ぶものであり、医療技術者にとって必修の学問である。生命維持に欠かせない呼吸と循環、消化と排泄、そしてそれらを調節する自律神経や内分泌機能について学ぶ。また、細胞機能の基礎、活動電位やイオンチャネル、骨格筋の収縮、自律神経と運動神経、中枢神経、感覚、血液、代謝、生殖、恒常性のメカニズムについて学ぶ。生命現象がどのように営まれているのか、生体の働きについてのメカニズムを理解し医療技術者として必要な基礎を理解する。

学習目標 : 生体の働きについてのメカニズムを、人体構造学の知識を基盤に人体の生理機能を理解させる事を目標とする。

テキスト : 「解剖生理学 人体の構造と機能」 医学書院

参考書 : 「最新 臨床検査学講座 生理学」医歯薬出版株式会社
「生理学テキスト 第7版」 文光堂

成績評価方法 : 定期試験(70%)、小テスト(30%)

その他 : 7/12 (水)1-2限で前期試験前の補講
メッセージ等 7/19 (水)1-2限で前期試験実施

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	5月17日	2	多目的ホール/ 駅前	義久精臣 (臨床検査学科)	細胞の構造と機能
2	5月17日	3	多目的ホール/ 駅前	義久精臣 (臨床検査学科)	消化と吸収 (消化管)
3	5月24日	1	多目的ホール/ 駅前	義久精臣 (臨床検査学科)	消化と吸収 (肝臓・胆のう・膵臓)
4	5月24日	2	多目的ホール/ 駅前	義久精臣 (臨床検査学科)	循環器系 (心臓と血管系)
5	5月24日	3	多目的ホール/ 駅前	義久精臣 (臨床検査学科)	心臓
6	5月31日	1	多目的ホール/ 駅前	義久精臣 (臨床検査学科)	呼吸器系 (気道と肺)
7	5月31日	2	多目的ホール/ 駅前	義久精臣 (臨床検査学科)	肺
8	5月31日	3	多目的ホール/ 駅前	義久精臣 (臨床検査学科)	体液の調節と尿の生成 (腎臓)
9	6月7日	1	多目的ホール/ 駅前	義久精臣 (臨床検査学科)	内臓機能の調節 (内分泌系)
10	6月7日	2	多目的ホール/ 駅前	義久精臣 (臨床検査学科)	内臓機能の調節 (内分泌系)
11	6月14日	1	多目的ホール/ 駅前	小川一英 (臨床検査学科)	血液の組成と機能
12	6月14日	2	多目的ホール/ 駅前	宇月美和 (臨床検査学科)	免疫

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	6月21日	1	多目的ホール/ 駅前	八木沼洋行 (神経解剖・発生学講座)	生殖
14	6月21日	2	多目的ホール/ 駅前	永福智志 (システム神経科学講座)	神経系の基礎 (1) (総論・膜輸送・静止膜電位の発生・活動電位の発生/伝導)
15	6月28日	1	多目的ホール/ 駅前	永福智志 (システム神経科学講座)	神経系の基礎 (2) (シナプス伝達) 感覚と神経系 (1) (総論・体性感覚・内臓感覚)
16	6月28日	2	多目的ホール/ 駅前	永福智志 (システム神経科学講座)	感覚と神経系 (2) (特殊感覚: 味覚・嗅覚・平衡覚・聴覚・視覚)
17	7月5日	1	多目的ホール/ 駅前	永福智志 (システム神経科学講座)	運動と神経系 (1) (総論・骨格筋・脊髄/脳幹反射)
18	7月5日	2	多目的ホール/ 駅前	永福智志 (システム神経科学講座)	運動と神経系 (2) (随意運動: 運動野・大脳基底核・小脳の機能)

科目名 : 生理学Ⅱ
英語名称 : PhysiologyⅡ
担当責任者 : 義久 精臣
開講年次 : 1年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 生理学Ⅰと生理学実習で学んだ人体生理の正常機能に関する知識を基盤とし、それらの仕組みが破綻した時、どのような病態から病気が引き起こされるのかを理解する。各論として、免疫のしくみと疾患の病態、血液の働きと疾患の病態、循環や呼吸調節の障害とその病態、消化吸収異常に関する病態、脳や神経の疾患とその病態などに関して学ぶ。また、すべての臓器や調節系が相互に深く関わりあって機能していることなどを学び理解を深める。

学習目標 : 人体の正常な生理機能を理解するとともに合わせてその異常により生ずる病態をも理解する。

テキスト : 「病態生理学 疾病のなりたちと回復の促進」 医学書院

参考書 : 「生理学テキスト 第7版」 文光堂

成績評価方法 : 定期試験 100%

その他 : 11/13（月）4限に試験実施予定
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月25日	4	駅前	義久精臣 (臨床検査学科)	病態生理の基礎知識
2	9月25日	5	駅前	義久精臣 (臨床検査学科)	循環の働きと異常 (心臓)
3	9月25日	6	駅前	義久精臣 (臨床検査学科)	循環の働きと異常 (血管系)
4	10月2日	4	駅前	義久精臣 (臨床検査学科)	呼吸の働きと異常 (肺)
5	10月2日	5	駅前	義久精臣 (臨床検査学科)	呼吸の働きと異常 (気道)
6	10月2日	6	駅前	義久精臣 (臨床検査学科)	腎臓の働きと異常 体液調節・電解質
7	10月16日	4	駅前	義久精臣 (臨床検査学科)	消化・吸収の働きと異常 (消化管)
8	10月16日	5	駅前	義久精臣 (臨床検査学科)	消化・吸収の働きと異常 (肝臓・胆のう・膵臓)
9	10月23日	4	駅前	義久精臣 (臨床検査学科)	内分泌の働きと異常
10	10月23日	5	駅前	宇月美和 (臨床検査学科)	免疫の働きと異常・体温調節
11	10月23日	6	駅前	林博史 (作業療法学科)	脳・神経の働きと異常
12	10月24日	3	駅前	小川一英 (臨床検査学科)	血液の働きと異常

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	10月30日	4	駅前	義久精臣 (臨床検査学科)	感覚器の働きと異常
14	10月30日	5	駅前	大原美希 (産婦人 科学講座)	生殖のしくみと異常
15	10月30日	6	駅前	加藤欽志 (整形外 科学講座)	筋肉の働きと異常

科目名 : 生理学実習【保健1】
英語名称 :
担当責任者 : 義久精臣
開講年次 : 1年 後期 1単位 授業形態 : 実習
必修・選択 : 必修

概要 : 生理学Ⅰにより修得した人体生理学についての知識を基盤としさらに実習として体験型に発展させたものである。生理学は生体の複雑な統合機能を解明する学問である。中でも身近に感じることができる生体に生じる現象を体験し、また観察した結果をもとに、そのメカニズムについて自ら考察し、生理学の理解を深めることを目的とする。人体を対象とした筋の収縮や運動の仕組み、循環器や呼吸器などの生体の機能について観察できる実習を行う。また同時に、実験器具や装置の正しい使用方法や安全管理についても学ぶ。

学習目標 : 人体生理のメカニズムに対して実習を通して体験する。生体機能や筋の力学的特性や運動の仕組み等を理解する事を目的とする。また、実験器具・装置の正しい使用方法や安全管理について理解できる。

テキスト : 「解剖生理学 人体の構造と機能」 医学書院
オリジナル実習テキスト
オリエンテーション時にテキストおよび実習班の編成を配布します。

参考書 : 「最新 臨床検査学講座 生理学」 医歯薬出版株式会社
「生理学テキスト 第7版」 文光堂

成績評価方法 : 「最新 臨床検査学講座 生理学」 医歯薬出版株式会社
「生理学テキスト 第7版」 文光堂

その他 :
メッセージ等

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
	11月6日	5	駅前	1～3 義久精臣（臨床検査学科）全担当教員 4～6 三浦里織（臨床検査学科）	1～3 オリエンテーション 生理学実習概要のレクチャーレポート作成方法の指導 4～6 血球観察（血液成分について） 血糖測定
			駅前	7～9 鈴木英明（臨床検査学科） 10～12 林博史（作業療法学科）	7～9 腎機能測定（クレアチニンクリアランス） 10～12 血圧測定（正しい血圧測定、負荷による血圧変化）
			駅前	13～15 義久精臣・堀越裕子（臨床検査学科） 16～18 横塚美恵子（理学療法学科）	13～15 超音波検査（心臓の観察） 16～18 呼吸機能検査（肺活量、努力性肺活量）
			駅前	19～21 岡崎可奈子（理学療法学科） 22～24 柴喜崇・楠本泰士（理学療法学科）	13～15 超音波検査（心臓の観察） 16～18 呼吸機能検査（肺活量、努力性肺活量）
			駅前	25～27 澄川幸志（作業療法学科） 28～30 木村夏実（作業療法学科）	25～27 視覚・皮膚感覚 28～30 記憶・認知機能

受講要件☒

生理学Ⅰを履修済であること。

* 4～30までの9項目については小グループで順次まわり、実習を実施する。詳細については、オリエンテーションで説明する。

科目名 : 基礎生化学
英語名称 : Basic Biochemistry
担当責任者 : 北爪しのぶ
開講年次 : 1年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 生化学は医学分野における様々な専門科目の基礎的な土台となり、生命現象を理解するためには必須の学問である。ここでは生体を構成するタンパク質、脂質、糖質、核酸、ビタミンなどの分子構造や化学的性質について学ぶと共に、これらの分子が体内でどのように生合成され、代謝されていくのか、そして遺伝情報物質として機能するための分子基盤について学ぶ。そして、細胞および生体レベルで恒常的機能を維持するために、これらの分子がどのような役割を果たしているのか理解した上で、その破綻がさまざまな疾患の発症と進行に果たす役割についても学ぶ。

学習目標 : 生体分子の基本的な構造、エネルギー代謝の大枠に関して基本的な知識を学ぶことで、種々の疾患の病態メカニズムについて考察するための基盤を作る。

テキスト : コア生化学 (丸善)

参考書 : 大学生物学の教科書 (講談社)

成績評価方法 : 定期試験80%、小テスト・レポート20%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : —

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月22日	6	多目的ホール 駅前キャンパス	北爪しのぶ(臨床 検査学科)	生化学の序論・アミノ酸の学習
2	9月29日	6	多目的ホール 駅前キャンパス	北爪しのぶ(臨床 検査学科)	タンパク質の構造と機能
3	10月6日	6	多目的ホール 駅前キャンパス	北爪しのぶ(臨床 検査学科)	酵素の作用と反応速度論
4	10月13日	6	多目的ホール 駅前キャンパス	北爪しのぶ(臨床 検査学科)	生体エネルギー学と糖質代謝
5	10月20日	6	多目的ホール 駅前キャンパス	北爪しのぶ(臨床 検査学科)	脂質 脂質代謝、いろいろな脂質
6	10月27日	6	多目的ホール 駅前キャンパス	北爪しのぶ(臨床 検査学科)	タンパク質とアミノ酸代謝
7	11月10日	6	多目的ホール 駅前キャンパス	北爪しのぶ(臨床 検査学科)	生体高分子（核酸）
8	11月17日	6	多目的ホール 駅前キャンパス	北爪しのぶ(臨床 検査学科)	遺伝子発現の制御1
9	11月24日	6	多目的ホール 駅前キャンパス	北爪しのぶ(臨床 検査学科)	遺伝子発現の制御2
10	12月8日	6	多目的ホール 駅前キャンパス	北爪しのぶ(臨床 検査学科)	生体膜と複合糖質
11	12月15日	6	多目的ホール 駅前キャンパス	北爪しのぶ(臨床 検査学科)	ビタミンと補酵素
12	12月22日	6	多目的ホール 駅前キャンパス	北爪しのぶ(臨床 検査学科)	肝臓とタンパク質代謝

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	1月19日	6	多目的ホール 駅前キャンパス	北爪しのぶ(臨床 検査学科)	情報伝達の生化学
14	1月26日	6	多目的ホール 駅前キャンパス	山口芳樹(東北薬 科大学)	構造の生化学
15	2月2日	6	多目的ホール 駅前キャンパス	北爪しのぶ(臨床 検査学科)	血液と血漿タンパク質

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

科目名 : 医学概論
英語名称 : Introductory Medicine
担当責任者 : 小川一英
開講年次 : 1年 前期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : まず医学の定義と医学の使命について学び、今日の医学がどのように発展してきたのか、また現代医学がどのように成り立っているのかを医学の歴史から学習する。さらに人体の構造と機能についての概要を学んだのち、病気の原因、病態と症状との関連について総論的に学習する。また病気を診断するための様々な方法と治療の種類、さらには予防医学の考え方や健康を守っていくための医療制度と医療保障についての概要についても学ぶ。最後に生命倫理、医の倫理についても考え、専門領域に進む前のメディカルコモンセンスを身に着ける。

学習目標 :
1. 医学の分類を理解し違いを説明できる。
2. 医学の歴史について学び、現代医学との接点について理解する。
3. 健康と病気の概念について説明できる。
4. 病気の成り立ち、診断、治療、予防の概要を説明できる。
5. 医療制度の概略について説明できる。

テキスト : 特に指定しない（講義資料を使用する）

参考書 : 医学概論（コメディカルのための専門基礎分野テキスト）改訂6版 中外医学社、学生のための医療概論 第3版 増補版 医学書院

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月11日	3	駅前/多目的ホール	小川一英	医学とは（医学と医療）、医学の歴史
2	4月25日	3	駅前/多目的ホール	小川一英	人体の仕組み
3	5月2日	3	駅前/多目的ホール	小川一英	人体の仕組み
4	5月9日	3	駅前/多目的ホール	小川一英	人体の仕組み
5	5月16日	3	駅前/多目的ホール	小川一英	健康とは、病気とは
6	5月23日	3	駅前/多目的ホール	小川一英	病気の成り立ち
7	5月30日	3	駅前/多目的ホール	小川一英	病気の成り立ち
8	6月6日	3	駅前/多目的ホール	小川一英	病気の成り立ち
9	6月13日	3	駅前/多目的ホール	小川一英	病気の成り立ち
10	6月20日	3	駅前/多目的ホール	小川一英	病気の成り立ち
11	6月27日	3	駅前/多目的ホール	小川一英	病気の診断（診察、検査など）
12	7月4日	3	駅前/多目的ホール	小川一英	病気の治療

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	7月11日	3	駅前/多目的ホール	小川一英	医療制度
14	7月18日	3	駅前/多目的ホール	小川一英	医療制度
15	7月25日	3	駅前/多目的ホール	小川一英	医の倫理

科目名 : 微生物学総論
英語名称 : Introductory Microbiology
担当責任者 : 豊川真弘
開講年次 : 1年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修：臨床検査学科、選択：その他の学科

概要 : 感染症はすべての医療従事者に関連する重要な疾患である。感染症を根絶することは不可能であるが、早期治療による症状軽減や流行を拡大させないよう予防することは可能である。そのためには「病原体」を知り、「病原体と宿主との関係」を理解することが不可欠である。本講義では、感染症の原因となる各種病原微生物の種類と特徴およびこれら微生物に対する宿主の感染防御機構について学ぶとともに、各臓器に特徴的な感染症、免疫低下患者に見られる日和見感染症、院内感染症、薬剤耐性菌感染症、人畜共通感染症などについて学ぶ。さらに、感染症診断に必要な微生物検査の種類と利用

学習目標 :
1. 臨床的に重要な微生物の種類と特徴を理解する。
2. 微生物に対する宿主の感染防御機構を理解する。
3. 各臓器に特徴的な感染症と原因微生物を理解する。
4. 宿主因子が影響する感染症と原因微生物を理解する。
5. 院内感染症の主な原因微生物と感染対策法を理解する。

テキスト : ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ち (3) : 臨床微生物・医動物 第4版

参考書 :

成績評価方法 : 定期試験80%、小テスト・レポート20%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月28日		多目的ホール	豊川真弘（臨床検査学科）	なぜ微生物学を学ぶのか？ 微生物とは？
2	10月5日		多目的ホール	同上	感染症の分類と感染防御機構
3	10月12日		多目的ホール	同上	臓器・組織別にみる感染症と病原体① - 呼吸器感染症、結核 -
4	10月19日		多目的ホール	同上	臓器・組織別にみる感染症と病原体② - 消化器感染症、肝炎 -
5	10月26日		多目的ホール	同上	臓器・組織別にみる感染症と病原体③ - 尿路感染症、性感染症 -
6	11月2日		多目的ホール	同上	臓器・組織別にみる感染症と病原体④ - 脳・神経系感染症、皮膚の感染
7	11月9日		多目的ホール	同上	宿主因子が影響する感染症と病原体① - 人畜共通感染症、小児の感染
8	11月16日		多目的ホール	同上	宿主因子が影響する感染症と病原体② - 高齢者、日和見感染症、移植と
9	11月30日		多目的ホール	同上	主な院内感染とその対策
10	12月13日		多目的ホール	同上	医療関連感染総論、洗浄・消毒・滅菌
11	12月14日		多目的ホール	同上	針刺しおよび血液・体液曝露防止、医療廃棄物、環境整備
12	12月21日		多目的ホール	同上	臨床微生物学の基礎、微生物検査に適した検体採取と感染対策調査

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	1月18日		多目的ホール	同上	感染症の検査と治療
14	1月25日		多目的ホール	同上	薬剤耐性菌、アウトブレイク調査、抗菌薬適正使用
15	2月1日		多目的ホール	同上	まとめ

自由記載

診療放射線科学科は2年後期

科目名 : 臨床技術基礎演習【保健1】
英語名称 :
担当責任者 : 義久精臣
開講年次 : 1年前期 1単位 授業形態 : 演習
必修・選択 : 必修

概要 : 医療従事者として必要とされる医療安全や感染制御などの基礎医科学技術や患者接遇に必要な知識の習得を行う。これらの知識は将来の専門性に囚われることなく、普遍的な知識として本学部の全学生が習得すべきものと位置づけ、将来様々な場面で活用できる知識を習得する。医療安全の視点の下に医療職としての役割、医療における課題等を演習から理解すると同時に、さまざまな職種の人々との協力から成るチーム医療の概要と必要性を学習する。

学習目標 : 患者の立場に立った基礎的な臨床技術を学習する。

テキスト : オリエンテーション時にテキストおよび実習班の編成を配布します。

参考書 : 使用しない

成績評価方法 : レポート50%、口頭試問50%

その他 :
メッセージ等

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
	4月17日	4-6限	駅前キャンパス・多目的ホール	義久精臣（臨床検査学科） 見田洋子（日本接遇協会）	1～3 オリエンテーション 医療接遇（観察力・傾聴力・伝達力など）
	4月18日	1-3限	駅前キャンパス・多目的ホール	木村夏実・三橋佑平・林博史 （作業療法学科）	4～6 <作業療法学科担当> 高齢者・障がい者の特性 バイタルサイン（体温、血圧、脈拍、呼吸数）
	4月18日	4-6限	駅前キャンパス・多目的ホール	矢吹省司・岡崎可奈子・小俣純一 （理学療法学科）	7～9 <理学療法学科担当> 患者移動法など 清潔・不潔の概念とルール
	4月19日	1-3限	駅前キャンパス・多目的ホール	豊川真弘・三浦里織・高橋一人・義久精臣・堀越裕子・平田理絵（臨床検査学科）	10～12 <臨床検査学科担当> 感染制御（手洗いおよび手指消毒） 心電図の計測法、心電図の見方
	4月19日	4-6限	駅前キャンパス・多目的ホール	田代雅実・久保均・佐藤久志・高橋規之・加藤貴弘・福田篤志（診療放射線学科）	13～15 <診療放射線学科担当> 応急手当（応急手当とは、心肺蘇生の一連の流れ） 応急手当（基本的心肺蘇生法、AEDの使用法）

自由記載（記載しない場合は必ず消してください）

4月17-18日は班毎に異なるテーマの演習を体験します。

4～15までの7項目については小グループで順次まわり、実習を実施する。

詳細については、オリエンテーションで説明する。

科目名 : 臨床心理学
英語名称 : Clinical Psychology
担当責任者 : 林博史
開講年次 : 1年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 理学療法学科、作業療法学科は必修、診療放射線科学部、臨床検査学科は選択

概要 : 臨床心理学は、日常的な困難、心の不調、人間関係のトラブルを抱える人々への心理的支援に関する心理学の一分野です。そこには、心理的支援の具体的方法のみならず、「どのように支援（治療）するのが良いか」といった支援（治療）に対する考え方（理論）、更には「そもそも人とはどのようなものか」といった人間観が含まれている。そうした具体的方法・考え方（理論）・人間観が1つだけではなく、いくつもある。この授業では、そうした考え方（理論）・人間観を解説しながら、心理的支援の方法について紹介する。

学習目標 : 医療現場における心理的なアセスメントや援助方法を理解し、並びに自らの心の健康に役立つ知見を理解する。

テキスト : 特定のテキストは使用しない。講義内容に即したプリントを配付する。

成績評価方法： 定期試験100%。最終評価に授業感想文や小テストの内容を加味する場合がある。

その他（メッセージ等）：

参考書 : 講義の際に適宜紹介する

成績評価方法 : 定期試験100%。最終評価に授業感想文や小テストの内容を加味する場合がある。

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	11/16 (木)	7	駅前	林博史 (作業療法学科)	精神疾患
2	11/30 (木)	6	駅前	三澤文紀 (総合科学教育研究センター)	臨床心理学とは何か
3	11/30 (木)	7	駅前	竹林由武 (医学部健康リスクコミュニケーション学講)	認知行動療法1: エビデンスに基づく実践、協同的実証主義
4	12/7 (木)	6	駅前	竹林由武	認知行動療法2: 学習理論、行動療法
5	12/7 (木)	7	駅前	竹林由武	認知行動療法3: 情報処理理論、認知行動療法
6	12/14 (木)	6	駅前	竹林由武	認知行動療法4: 認知行動療法の事例と応用
7	12/14 (木)	7	駅前	竹林由武	集団療法: 集団力動、グループ・ダイナミクス
8	12/21 (木)	6	駅前	松本貴智 (大学健康管理センター)	心理的アセスメント1: 知能検査・認知機能検査によるアセスメント
9	12/21 (木)	7	駅前	松本貴智	心理的アセスメント2: 性格検査によるアセスメント
10	1/18 (木)	6	駅前	松本貴智	患者の心理: 身体的苦痛をかかえる患者のこころ
11	1/18 (木)	7	駅前	松本貴智	精神分析: 防衛機制とグループダイナミクス
12	1/25 (木)	6	駅前	三澤文紀	クライアント中心療法1: 自己一致・純粋性、相談に必要な条件

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	1/25 (木)	7	駅前	三澤文紀	クライアント中心療法2：相談技法、相談の練習
14	2/1 (木)	6	駅前	三澤文紀	家族療法：全体性と円環的認識論
15	2/1 (木)	7	駅前	三澤文紀	家族療法の発展：解決志向アプローチ、ナラティブ・セラピー

科目名 : 環境と放射線
英語名称 : Radiation in the Environment
担当責任者 : 福田篤志
開講年次 : 1年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修：診療放射線科学科、選択：理学療法学科、作業療法学科、臨床検査学科

概要 : 我々が自然界あるいは現代社会で生活していく際に、様々な種類の「放射線」に遭遇する。生活環境中にある放射線を環境放射線といい、自然界にもともと存在している放射線である自然放射線と、人間が作り出した核実験や原子力事故などで放出された放射性物質による人工放射線に分類される。それらのほとんどは、我々にとって利益にもなり有害にもなり得る。そこで、本科目では放射線に関する基本的な内容を理解したうえで、自然界や現代社会での放射線の存在やその動態について学ぶと共に、それらが人体や人類に与える影響について学習する。

学習目標 :
1. 放射線の基礎を知る。
2. 環境放射線の種類や量、その測定法について理解を深める。
3. 環境放射線の自然界に与える影響や動態について理解を深める。
4. 環境放射線が人体や人類に与える影響について理解を深める。

テキスト : なし

参考書 : なし

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 : なし
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月28日	2	駅前	福田篤志（診療放射線科学科）	放射能と放射線
2	10月5日	2	駅前	福田篤志（診療放射線科学科）	放射性同位元素
3	10月12日	2	駅前	福田篤志（診療放射線科学科）	放射線の計測方法
4	10月19日	2	駅前	福田篤志（診療放射線科学科）	放射線による影響の評価
5	10月26日	2	駅前	石川徹夫（医学部放射線物理化学講座）	自然放射線とその線量
6	11月2日	2	駅前	塚田祥文（福島大学）	原子炉における放射性物質の生成と環境試料の測定方法
7	12月6日	7	駅前	塚田祥文（福島大学）	土壌-用水-作物系における放射性物質の移行
8	11月16日	2	駅前	脇山義史（福島大学）	河川を通じた放射性物質の移動
9	11月30日	2	駅前	和田敏裕（福島大学）	魚類を中心とした水系生態系における放射性物質
10	12月7日	2	駅前	高田兵衛（福島大学）	海洋における放射性物質の動態
11	12月14日	2	駅前	塚田祥文（福島大学）	飲食物摂取による基準値の考え方
12	12月21日	2	駅前	石川徹夫（医学部放射線物理化学講座）	環境放射線が人体に与える影響

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	1月18日	2	駅前	石川徹夫（医学部 放射線物理化学講 座）	事故後の環境放射線モニタリング （空間線量、大気中放射能）
14	1月25日	2	駅前	石川徹夫（医学部 放射線物理化学講 座）	東日本大震災による県民の外部・ 内部被ばく線量評価
15	2月1日	2	駅前	福田篤志（診 療放射線科学 科）	まとめ

科目名 : 生命倫理学【保健1】
英語名称 : Bioethics
担当責任者 : 本多創史
開講年次 : 1年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 20世紀後半以降、生命技術は著しく進展した。このことによって生命に対する大幅な介入が可能になり、人類はそれまで望むことができなかった選択肢を手中に収めるようになった。それは、技術によってよりよき生を望むことが可能になったということであると同時に、人間の命や身体、精神への人為的な介入はどこまで許されるのか／許されないのかといった新たな問題を引き起こすことでもあった。
このような事態を前に、われわれは何について、また、どのように考えればよいのだろうか。本講義が、生命をめぐる倫理的な問題について考えるきっかけとなり、また、合理的な思考を身につける一助になれば、と思う。

学習目標 : 全般的目標
現代医療における具体的な生命倫理の課題について理解し、現代の生命倫理問題に応答できる基礎力を身につける。
具体的到達目標
生命と身体にまつわる倫理的諸問題について全般的に説明できる。
これらの倫理的問題に対して、筋道をたてて自己の見解を述べることができる。

テキスト : 指定なし。ただしレジュメを配布する。

参考書 : 黒崎剛／野村俊明『生命倫理の教科書』ミネルヴァ書房、2014年、ISBN978-4-623-066469

成績評価方法 : レポート20%（リアクションペーパー4点×5回＝20点）、定期試験80%（80点）。

その他 : 生とは何か、死とは何か等々は、考えれば考えるほど答えのない問題であることに気づくでしょう。だからと言って考えることを諦めるのではなく、丁寧に考え続けるようにしてほしいと思います。考えるツールを持ち、またそれを現実の問題に応用する力を身につけることは、皆さんが医療人として現場に出た際に役立つものと思います。

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月22日	2	駅前	本多創史	生命倫理学とは 生命倫理の4原則
2	9月29日	2	駅前	本多創史	医療倫理の歴史ーニュルンベルク 綱領から世界医師会による宣言ま でー
3	10月6日	2	駅前	本多創史	インフォームド・コンセントと患 者の自己決定権
4	10月13日	2	駅前	本多創史	出生前診断と優生思想 1
5	10月20日	2	駅前	本多創史	出生前診断と優生思想 2
6	10月27日	2	駅前	本多創史	出生前診断と優生思想 3
7	11月10日	2	駅前	本多創史	出生前診断と優生思想 4ー重症心 身障碍児と新生児集中治療室ー
8	11月17日	2	駅前	本多創史	移植医療 1 ー脳死とは何かー
9	11月24日	2	駅前	本多創史	移植医療 2 ー脳死と移植医療の歴史ー
10	12月8日	2	駅前	本多創史	移植医療 3 ードナーとレシピエントの紹介ー
11	12月15日	2	駅前	本多創史	死の選択の倫理問題 1ー安楽死・ 尊厳死・自殺幫助ー
12	12月22日	2	駅前	本多創史	死の選択の倫理問題 2ー安楽死・ 尊厳死・自殺幫助の実際ー

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	1月19日	2	駅前	本多創史	研究倫理1 一人を対象とする研究の倫理の基礎知識ー
14	1月26日	2	駅前	本多創史	研究倫理2 一人を対象とする研究の倫理の基礎知識ー
15	2月2日	2	駅前	本多創史	まとめー自己哲学のためにー

科目名 : 疫学・公衆衛生学
英語名称 : Epidemiology and Public health
担当責任者 : 小川一英
開講年次 : 1年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修

概要 : 専門医療技術者に必要な地域・集団の心身の健康維持を図るための科学と技術について学習する。具体的には公衆衛生学領域における疫学の考え方、母子・学校・精神保健、感染症の成立要因とそれに基づく予防対策、公害や地域から地球規模の環境衛生について学ぶ。また近年の健康維持に対する最大の阻害要因である生活習慣病について予防対策も含めて学習する。保健統計については人口動態統計を中心に学び、さらに栄養と食品衛生、産業保健や保健医療制度などについて学習する。

学習目標 :
1. 公衆衛生学領域における疫学的なものの捉え方を理解できる
2. 母子保健、学校保健、精神保健の概要について説明できる。
3. 感染症の成立要因とその予防対策について説明できる。
4. 公害や地球規模の環境衛生について説明できる。
5. 生活習慣病の特徴、予防について説明できる。
6. 日常生活における栄養、食品の安全性について説明できる。
7. 労働衛生についての基礎的事項を説明できる。
8. 医療保険制度の概要を説明できる。

テキスト : 「公衆衛生がみえる」 株式会社メディックメディア

参考書 : NEW予防医学・公衆衛生学改訂第4版 岸玲子ほか編、南江堂
国民衛生の動向 厚生労働統計協会
公衆衛生マニュアル 柳川洋ほか編、南山堂

成績評価方法 : 定期試験の成績、及び、受講態度等も含め、総合的に評価する

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月22日	7	駅前/多目的ホール	安村誠司（医学部公衆衛生学講座）	総論、医の倫理・終末期医療
2	9月29日	7	駅前/多目的ホール	大平哲也（医学部疫学講座）	疫学の考え方
3	10月13日	7	駅前/多目的ホール	安村誠司	感染症と予防対策
4	10月20日	7	駅前/多目的ホール	岩佐一（医学部公衆衛生学講座）	母子保健
5	10月27日	7	駅前/多目的ホール	岩佐一	高齢者保健
6	11月10日	7	駅前/多目的ホール	安村誠司	学校保健、医師法・診療情報
7	11月17日	7	駅前/多目的ホール	森山信彰（医学部公衆衛生学講座）	精神保健福祉と障害者福祉、歯科保健
8	11月24日	7	駅前/多目的ホール	森山信彰	成人保健と健康増進
9	12月9日	7	駅前/多目的ホール	中山千尋（医学部公衆衛生学講座）	社会保障制度と医療経済
10	12月13日	5	駅前/多目的ホール	各務竹康（医学部衛生学・予防医学講座）	地域における環境
11	12月13日	6	駅前/多目的ホール	各務竹康	産業保健①（労働基準法、労働安全衛生法）
12	12月15日	7	駅前/多目的ホール	安村誠司	食品保健と栄養

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	1月17日	5	駅前/多目的ホール	各務竹康	産業保健②（職業性疾患、産業中毒）
14	1月19日	5	駅前/多目的ホール	江口依里（医学部疫学講座）	保健統計
15	2月2日	7	駅前/多目的ホール	安村誠司	医療の質・医療法、国際保健

科目名 : 医用工学
英語名称 : Medical Engineering
担当責任者 : 西山 篤
開講年次 : 1年 後期 2単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必修: 診療放射線科学科、臨床検査学科、選択: 理学療法学科、作業療法学

概要 : 現在の高度化された医療機器には、様々な電気・電子回路が使われている。それら機器を正しく使用するためには、原理や仕組みに関する基本をしっかりと理解しておく必要がある。本講義では、そのために必要な電気・電子工学に関する基礎知識を習得する。具体的には、電界と磁界などに関する電磁気学の基礎、オームの法則、直交流回路や共振回路、過渡現象などに関する電気工学の基礎、半導体と増幅回路などに関する電子工学の基礎、電気電子計測の基礎を学習する。また、センサ・トランスデューサなどの生体情報の収集、医用機器の安全対策関を学習する。

学習目標 : 1.電界と磁界を説明することができる。
2.直流回路の解析と計算ができる。
3.交流回路の解析と計算ができる。
4.CR回路の過渡現象を説明することができる。
5.半導体（ダイオード、トランジスタの原理、特性、種類）を説明することができる。
6.アナログ増幅回路を説明することができる。
7.AD・DA変換の過程を説明することができる。
8.センサ・トランスデューサの原理、構造、種類を説明することができる。

テキスト : 1.診療放射線技師スリム・ベーシック 医用工学 改訂第2版 メジカルビュー社 福士政広(編) 2018年

参考書 : 1.初歩の医用工学 医療科学社 西山 篤 他 (編) 2016年
2.最新臨床検査学講座 医用工学概論 嶋津秀昭, 中島章夫 (編) 2018年

成績評価方法 : 定期試験70%、小テスト30%

その他 : なし
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ○

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1~ 2	9月26日	1,2	駅前	西山 篤	医用工学とは 電界とコンデンサ 磁界
3~ 4	10月3日	1,2	駅前	西山 篤	電流と磁界の相互作用 オームの法則
5~ 6	10月10日	1,2	駅前	西山 篤	直流回路（回路とその計算） 交流回路（交流現象）
7~ 8	10月17日	1,2	駅前	西山 篤	交流回路（素子の動き） 正弦波交流回路の計算（RL直並列回路）
9~ 10	10月24日	1,2	駅前	西山 篤	正弦波交流回路の計算（RC直並列回路） 共振現象
11 ~ 12	10月31日	1,2	駅前	西山 篤	交流電圧・電流・電力 三相交流, CR回路の過渡現象
13 ~ 14	11月7日	1,2	駅前	西山 篤	変圧器 前半のまとめ
15 ~ 16	11月14日	1,2	駅前	田中 明	半導体（伝導現象、ダイオード） 半導体（トランジスタ、FET, センサ）
17 ~ 18	11月21日	1,2	駅前	田中 明	アナログ電子回路（電源回路、整流方式）、アナログ電子回路（増幅回路とトランジスタ）
19 ~ 20	11月28日	1,2	駅前	田中 明	アナログ増幅回路（オペアンプ） D-A変換, A-D変換
21 ~ 22	12月5日	1,2	駅前	田中 明	電子管 レーザー
23 ~ 24	12月12日	1,2	駅前	田中 明	論理演算 論理回路

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25 ~ 26	12月19日	1,2	駅前	田中 明	生体情報の収集（種類と条件） 生体情報の収集（センサ・トランスデューサ）
27 ~ 28	1月16日	1,2	駅前	田中 明	生体情報の収集（記録器，表示器の原理と特性） 電氣的安全対策
29 ~ 30	1月23日	1,2	駅前	田中 明	まとめ

科目名 : 検査機器・情報科学
英語名称 : Diagnostic Technologies / Medical Informatics
担当責任者 : 菅野光俊
開講年次 : 1年 後期 1単位 授業形態 : 講義
必修・選択 : 必須

概要 : 現在の臨床検査は検査分野に関わらず、自動分析機器を抜きに検査を行うことは困難である。自動分析機器を有効に活用し、精確な検査結果を提供するために必要な、測定原理、方法、基本的な操作法について学習する。

医療機関では数多くの情報システムが稼動している。これらは一般的な情報システムの応用と考えて良いが、医療では部門ごとに異なったシステムが稼動していることが多く、それぞれに独自の標準規格があることも特徴である。これに加え、各部門システムや規格を同等に取り扱うために必要な、連携システムも必要となる。また、医療情報には個人を特定する情報（氏名や

学習目標 :
・化学容量器の種類、秤量装置、遠心分離装置の取り扱いについて理解する。
・測光装置、顕微鏡、電気化学装置の特徴について理解する。
・検体検査の系統別に機器の種類、特徴について理解する。
・生理学的検査機器の種類、特徴について理解する。
・病院情報システム、臨床検査システムの仕組みを知り、医療全体の連携が把握できる。
・医療情報の標準規格を理解し、それぞれの連携に活用できる。

テキスト : 医療情報システム入門 保健医療福祉情報システム工業会 JAHIS 2020年

参考書 : 最新臨床検査学講座「情報科学」(医歯薬出版)
医療情報 第7版 情報処理技術編 日本医療情報学会医療情報技師育成部会
(編) 2022年

成績評価方法 : 定期試験100%

その他 :
メッセージ等

実務経験のある教員が行う授業科目 : ー

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	9月25日	3	駅前	菅野光俊（臨床検査学科）	秤量装置、分離装置、攪拌装置、恒温装置
2	10月2日	3	駅前	菅野光俊（臨床検査学科）	保冷装置、消毒・滅菌装置、測光装置
3	10月16日	3	駅前	高橋一人（臨床検査学科）	顕微装置、写真装置
4	10月23日	3	駅前	菅野光俊（臨床検査学科）	電気化学装置、純水装置
5	10月30日	3	駅前	松田将門、高橋一人（臨床検査学科）	専門機器（血液）（病理）
6	11月6日	3	駅前	菅野光俊、鈴木英明（臨床検査学科）	専門機器（化学）（輸血・免疫）
7	11月13日	3	駅前	堀越裕子（臨床検査学科）	専門機器（生理）
8	11月20日	3	駅前	丹野大樹、北爪しのぶ（臨床検査学科）	専門機器（微生物）（遺伝子・染色体）
9	11月27日	3	駅前	広藤喜章（診療放射線科学科）	医療情報システムの概要 医療における情報の役割 医療の情報政策
10	12月4日	3	駅前	広藤喜章（診療放射線科学科）	コンピュータネットワークの概要 ネットワークの接続形態 分散処理と集中処理
11	12月11日	3	駅前	広藤喜章（診療放射線科学科）	医療情報システムに必要なネットワーク パケット交換
12	12月18日	3	駅前	広藤喜章（診療放射線科学科）	病院情報システム(HIS)の概要 電子カルテシステム オーダリングシステム

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	12月25日	3	駅前	菅野光俊（臨床検査学科）	検査情報システム(LIS)の概要
14	1月15日	3	駅前	広藤喜章（診療放射線科学科）	医用画像保管 PACSの概要 標準規格の概要
15	1月22日	3	駅前	広藤喜章（診療放射線科学科）	医療システムのセキュリティ 安全管理ガイドライン 電子保存

科目名 : チーム医療Ⅰ（概論）【保健1】
英語名称 :
担当責任者 : 矢吹省司
開講年次 : 1年前期 2単位 授業形態 : 講義（一部演習）
必修・選択 : 必修

概要 : チーム医療とは何かを学ぶ。まず、医療がどのように成り立っているのかを理解する。職業倫理を理解し、医療人としての基本的な態度を培う。それぞれの専門医療技術者の業務内容について詳しく学び、果たすべき役割や責任を理解する。

チーム医療Ⅰでは、チームで行うカンファランスの意義を理解する。開講年次が1年生のため、病気に対する検討ではなく、倫理的な問題など人としてどう考えるかの課題を与えて、チームでその課題について議論し、まとめて発表する。

学習目標 : (1) 医療人として身に着けるべき基本的な倫理を説明できる。
(2) 医療を構成する専門職を挙げ、その役割を説明できる。
(3) 他メンバーと協働してカンファランスを進めることができる。
(4) 問題解決のため、論理的に考えることができる。
(5) 問題解決のために必要な情報を検索・収集することができる。

テキスト : 特定のテキストはありません。

参考書 : エイミー・C. エドモンドソン『チームが機能するとはどういうことか 「学習力」と「実行力」を高める実践アプローチ』、英治出版、2014

成績評価方法 : 定期試験70%、教員によるグループ評価と個人評価（30%）

その他 : 各講義に必要な資料は、講義の際に配布します。
メッセージ等

授業スケジュール／担当教員等

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
1	4月10日	5	駅前	小川一英	オリエンテーション 医療の中で医師が果たす役割を学ぶ
2	4月24日	5	駅前	高橋香子 (看護学部)	医療の中で看護師、保健師が果たす役割を学ぶ
3	4月10日	7	駅前	神先秀人	医療の中で理学療法士が果たす役割を学ぶ
4	4月10日	6	駅前	五百川和明	医療の中で作業療法士が果たす役割を学ぶ
5	4月24日	6	駅前	高橋規之	医療の中で診療放射線技師が果たす役割を学ぶ
6	4月24日	7	駅前	菅野光俊	医療の中で臨床検査技師が果たす役割を学ぶ
7	5月1日	5	駅前	黒田純子 (附属薬剤部) 菅野和広 (附属リハビリテーションセンター)	医療の中で薬剤師、言語聴覚士が果たす役割を学ぶ
8	5月1日	6	駅前	青木俊太郎 (医療人育成支援センター) 阿部真典 (株式会社東北補装具製作所)	医療の中で公認心理師、義肢装具士が果たす役割を学ぶ
9	5月1日	7	駅前	福原之博 (臨床工学センター) 門馬成郎 (医療連携相談室) 佐藤亜希美 (医事課病院業務係)	医療の中で臨床工学技士、ソーシャルワーカー、医療事務が果たす役割を学ぶ
10	5月8日	5	駅前	1	医大での見学(リハビリテーションセンター、放射線部、検査部、薬剤部、栄養管理部、看護部、病理
11	5月8日	6	駅前	1	医大での見学(リハビリテーションセンター、放射線部、検査部、薬剤部、栄養管理部、看護部、病理
12	5月8日	7	駅前	1	医大での見学(リハビリテーションセンター、放射線部、検査部、薬剤部、栄養管理部、看護部、病理

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
13	5月15日	5	駅前	矢吹省司	チーム医療とは何か なぜカンファランスが必要か 実際のカンファランスの進め方
14	5月15日	6	駅前	本多創史	医療と倫理1 症例1の供覧と問題点の検討 (次回に向けたカンファランス)
15	5月15日	7	駅前	2	症例1のチームカンファランス 発表資料の作成
16	5月22日	5	駅前	2	症例1のチームカンファランス 発表資料の作成
17	5月22日	6	駅前	2	発表と質疑応答
18	5月22日	7	駅前	2	発表と質疑応答
19	5月29日	5	駅前	鈴木優 (株式会社AC福島ユナイテッド)	現場でのチームカンファランス (I) (勝つためにチームとして何を行うか-1)
20	5月29日	6	駅前	鈴木優 (株式会社AC福島ユナイテッド)	現場でのチームカンファランス (II) (勝つためにチームとして何を行うか-2)
21	5月30日	7	駅前	大内一夫 (医療安全管理部、現リハビリテーションセンター)	現場でのチームカンファランス (III) (実社会でのカンファランスについて講義や動画から、カンファランスの重要性について学ぶ。医療安全編)
22	6月5日	5	駅前	矢吹省司 本多創史	医療と倫理2 症例2の供覧と問題点の検討
23	6月5日	6	駅前	2	症例2のチームカンファランス
24	6月5日	7	駅前	2	症例2のチームカンファランス

	授業実施日	時限	場所/キャンパス名	担当教員	授業内容
25	6月12日	5	駅前	2	症例2のチームカンファランス 発表資料の作成
26	6月12日	6	駅前	2	発表資料の作成
27	6月12日	7	駅前	2	発表資料の作成
28	6月19日	5	駅前	2	発表と質疑応答
29	6月19日	6	駅前	2	発表と質疑応答
30	6月19日	7	駅前	矢吹省司	コースのまとめ

1

阿部浩明・星真行（理学療法学科）田中善信・木村夏実（作業療法学科）加藤貴弘・佐藤久志（診療放射線科学科）菅野光俊・堀越裕子・三浦里織（臨床検査学科）

2

矢吹省司・神先秀人・森下慎一郎・阿部浩明・星真行（理学療法学科）五百川和明・藤田貴昭・石川陽子・田中善信・木村夏実（作業療法学科）高橋規之・加藤貴弘・佐藤久志・福田篤志（診療放射線科学科）小川一英・義久精臣・菅野光俊・堀越裕子・三浦里織（臨床検査学科）